

第2回 東京都北区地域包括ケア推進計画策定検討委員会 次第

令和7年11月6日 午前10時

北とぴあ 13階 飛鳥ホール

1 開 会

2 議 題

(1) 北区地域包括ケア推進計画策定のためのアンケート調査について

【資料1～3】

(2) 2027年度介護保険制度改正の動向

【資料4】

3 閉 会

<配布資料>

資料1-1_調査項目一覧表(①要介護認定を受けていない方)

資料1-2_調査項目一覧表(②要介護(要支援)認定を受けている方)

資料1-3_調査項目一覧表(③在宅介護実態調査)

資料1-4_調査項目一覧表(④55～64歳の方)

資料1-5_調査項目一覧表(⑤介護サービス事業所調査)

資料2_ご意見まとめ

資料3_封筒・頭紙等イメージ

資料4_2027年度介護保険制度改正の動向

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
		この調査票にお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)	1. あて名ご本人(ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含みます。) 2. あて名ご本人の配偶者(夫・妻) 3. あて名ご本人の兄弟姉妹 4. あて名ご本人の子ども 5. あて名ご本人の子どもの配偶者(夫・妻) 6. その他()				
問1.ご家族や生活状況について							
問1_Q1	あなたの性別をお答えください。(○は1つ)	1. 男性 2. 女性 3. その他					
問1_Q2	あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)	1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳 4. 80～84歳 5. 85～89歳 6. 90歳以上					
問1_Q3	家族構成をお教えてください。(○は1つ)	1. 1人暮らし 2. 配偶者・パートナーと同居(配偶者等65歳以上) 3. 配偶者・パートナーと同居(配偶者等64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他()	○				1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他()
問1_Q4	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)	1. 介護・介助は必要ない(⇒ Q7 へ) 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(⇒ Q5 へ) 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)(⇒ Q5、6 へ)	○				
問1_Q5	【Q4 で「2. 」または「3. 」と答えた方にうかがいます。】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷(せきついそんしょう) 13. 高齢による衰弱 14. 骨や関節の痛み 15. 精神疾患 16. 事故 17. 薬の副作用 18. その他() 19. 不明	オ				
問1_Q6	【Q4で「3. 」と答えた方にうかがいます。】 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○は1つ)	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟姉妹 7. ヘルパーなど介護サービスの人 8. その他()	オ				
問1_Q7	あなたの収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 仕事による収入 2. 年金 3. 預貯金の切り崩し 4. 利子・配当・家賃・不動産収入 5. 仕送り・援助 6. 生活保護 7. その他()					
問1_Q8	昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入(税込)総額はどれくらいですか。(○は1つ)	1. 100万円未満 2. 100万円以上200万円未満 3. 200万円以上300万円未満 4. 300万円以上500万円未満 5. 500万円以上700万円未満 6. 700万円以上1,000万円未満 7. 1,000万円以上 8. わからない					
問1_Q9	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	○				
問1_Q10	お住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)	1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅(区・都営、UR、公社等) 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借間 7. その他()	オ				

①要介護認定を受けていない方

※必須項目：○ 、オプション項目：オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 1_Q11	ご自身の住んでいる地域を「住みやすい地域」だと感じますか。(○は1つ)	1. とても住みやすい 2. まあ住みやすい 3. やや住みにくい 4. 住みにくい					
問2.からだを動かすことについて							
問 2_Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇りますか。(○は1つ)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○				
問 2_Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○				
問 2_Q3	15 分位続けて歩いていますか。(○は1つ)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○				
問 2_Q4	週にどの程度外出していますか。(○は1つ)	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	○			週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)	
問 2_Q5	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	○				
問 2_Q6	Q6. 外出を控えていますか。(○は1つ)	1. はい(⇒ Q7へ) 2. いいえ(⇒ Q8へ)	オ				
問 2_Q7	【Q6で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他()	オ				
問 2_Q8	外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()	オ				
問 2_Q9	過去1年間に転んだことがありますか。(○は1つ)	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	○				
問 2_Q10	転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安ではない 4. 不安ではない	○				
問3.食えることについて							
問 3_Q1	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)	1. はい(⇒ Q2 へ) 2. いいえ(⇒ Q3 へ)	オ				
問 3_Q2	【Q1で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】減少の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 食欲不振のため 2. 病気のため 3. 意識的に体重管理をしたため 4. その他()					
問 3_Q3	あなたの身長と体重を教えてください。	身長()cm 体重()kg	○			設問文なし	
問 3_Q4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	○				
問 3_Q5	お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ (○)				
問 3_Q6	口の渇きが気になりますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ (○)				
問 3_Q7	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 3_Q8	現在のご自分の歯の本数と入れ歯の使用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は親知らずを含めて 32 本です)。(○は1つ)		1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	○			
問 3_Q9	どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ)		1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	○			
問4.物忘れ・認知症について							
問 4_Q1	物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○			
問 4_Q2	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ				
問 4_Q3	あなた自身 に認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人 が いますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○	基本目標4	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人 は いますか。(○は1つ)	
問 4_Q4	認知症について、あなたはどのような印象を持っていますか？(○はいくつでも)		1. 何もわからなく(できなく)なっ てしまい、かわいそうだと思う 2. 急に怒ったりするので、怖いと感じる 3. 話すことや行動の意味がわからず理解しにくい 4. 声かけなど、手助けしたいと思う 5. 身近に感じる 6. できれば関わりたくない 7. その他 8. 特に何も感じない				1. 何もわからなく(できなく)なっ てしまい、かわいそうだと思う 2. 急に怒ったりするので、怖いと感じる 3. 話すことや行動の意味がわからず理解しにくい 4. 声かけなど、手助けしたいと思う 5. 長生きすれば認知症になる人が増えるので、最近は身近に感じる 6. 距離をとりたい 7. その他 8. 特に何も感じない
問 4_Q5	あなた自身が認知症になったら、周囲に知られてもよいと思いますか。		1. 知られてもよい 2. 知られたくない 3. その他() 4. わからない		基本目標1		
問 4_Q6	認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○			
問 4_Q7	物忘れや認知症への不安を感じた時、どこに(誰に)相談をしようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. かかりつけ医療機関 4. 薬局 5. 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター) 6. 認知症カフェ(オレンジカフェきたい〜な) 7. 区役所 8. 民生委員 9. ケアマネジャー 10. 社会福祉協議会 11. その他() 12. どこに(誰に)相談したらよいか分からない 13. 相談しない				
問 4_Q8	北区認知症あんしんなびを知っていますか。		1. はい 2. いいえ				
問5.毎日の生活について							
問 5_Q1	バスや電車を使って 1 人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q2	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q3	自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q4	自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q5	自分でごみ出しをしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない				
問 5_Q6	自分で預貯金のおし入れをしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q7	携帯電話またはスマートフォン・タブレットを使っていますか。(○は1つ)		1. 携帯電話(ガラケー)を使っている(⇒ Q8へ) 2. スマートフォン または タブレットを使っている (⇒ Q8へ) 3. 携帯電話とスマートフォン 両方を使っている(⇒ Q8へ) 4. 使っていない(⇒ Q9へ)		基本目標2		1. 携帯電話(ガラケー)を使っている(⇒ Q8へ) 2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている (⇒ Q8へ) 3. 両方使っている(⇒ Q8へ) 4. 使っていない(⇒ Q9へ)

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 5_Q8		【Q7で「1. 携帯電話(ガラケー)を使っている」「2. スマートフォンまたはタブレットを使っている」「3. 携帯電話とスマートフォン両方を使っている」と答えた方にうかがいます。】通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)	1. メール 2. 写真撮影 3. ゲーム 4. 電卓 5. 動画・TV視聴 6. ネットショッピング 7. 健康管理 8. ネット検索 9. SNS(LINE(ライン)・Facebook・X(旧Twitter)等) 10. ネットバンク 11. 決済サービス 12. 地図・交通情報の検索 13. 天気予報・ニュース閲覧 14. イベントの申し込みや各種電子申請 15. その他() 16. 通話以外で使用する機能はない			【Q7で「1. 携帯電話を使っている」「2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている」「3. 両方使っている」と答えた方にうかがいます。】通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)	
問 5_Q9		パソコンを使っていますか。(○は1つ)	1. 使っている(⇒Q10 へ) 2. 使っていない(⇒Q11 へ)				
問 5_Q10		【Q9で「1. 使っている」と答えた方に伺います】どのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)	1. メール 2. ゲーム 3. 動画・TV視聴 4. ネットショッピング 5. 文書作成 6. ネット検索 7. SNS(LINE(ライン)・Facebook・X(旧Twitter)等) 8. ネットバンク 9. 地図・交通情報の検索 10. 天気予報・ニュース閲覧 11. イベントの申し込みや各種電子申請 12. その他()				
問 5_Q11		あなたが現在日常生活の中で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 話し相手・相談相手がいない 2. 日常の外出の移動手段(買い物・通院等) 3. 遠い場所への外出 4. 高いところの作業(天袋、電球の交換等) 5. 簡単な修理 6. 重い物の扱いや運搬(布団、灯油、米、粗大ゴミ) 7. かがむ作業(風呂掃除・雑巾がけ等) 8. 手先や腕を使う作業(蓋の開閉、ドアノブ等) 9. 書類整理・事務手続き(役所関係、契約等) 10. 文字が読みづらい(回覧板、新聞等) 11. 屋外作業(草刈、庭木の手入れ等) 12. ごみの分別や集積場まで出しに行くこと 13. 部屋の掃除・大掃除や片付け 14. 食事のしたく(調理、栄養バランス等) 15. 衣服の洗濯や片付け 16. 電化製品やスマートフォン・インターネットの操作 17. その他() 18. 特に困っていることはない				
問 5_Q12		【Q11で「1」～「17」を答えた方にうかがいます。】回答した困りごとについて、主にどのように対処されていますか。(あてはまるものすべてに○)	1 家族や親せきのサポート 2 近所の人たちのサポート 3 友人や知人のサポート 4 有償・無償ボランティアのサポート 5 シルバー人材センターのサービス 6 社会福祉協議会の友愛ホームサービス 7 介護保険サービス 8 ほかの民間事業者のサービス 9 自力で何とかしている 10 その他() 11 対処できずに困っている				1 家族や親せきのサポート 2 近所の人たちのサポート 3 友人や知人のサポート 4 有償・無償ボランティアのサポート 5 シルバー人材センターのサービス 6 介護保険サービス 7 ほかの民間事業者のサービス 8 自力で何とかしている 9 その他() 10 対処できずに困っている
問 5_Q13		地域の中で、自立した生活を続けていくために、どのようなサービスや地域の支え合いがあるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)	1.食事の支度や片付け 2.弁当などの配食 3.自宅内の掃除や片付け 4.大掃除 5.布団干し 6.洗濯や片付け 7.ごみの分別やごみ出し 8.買い物(付き添い・代行) 9.買い物(移動販売や宅配) 10.簡単な修理や電球替え 11.庭の手入れ・花や木の水やり 12.生活に関する相談・話し相手 13.見守り・安否確認 14.健康づくりや介護予防の教室(体操など) 15.サロンなどの交流会、会食会 16.その他() 17.必要ない 18.わからない				
問 5_Q14		成年後見制度※をご存じですか。 ※ 成年後見制度:認知症などで物事の判断が困難になった場合、本人に代わって財産管理や契約行為等を行う後見人を選定し、法律的に保護・支援する制度です。後見人には、家族や親族の他に弁護士・司法書士・社会福祉士などが選任されます。	1. 知っている (⇒ Q13へ)。 2. 知らない (⇒ 問6Q1へ)		基本目標3		
問 5_Q15		【Q12で「1. 知っている」と答えた方に伺います】どのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)	1. 広報紙やパンフレット 2. テレビやラジオ、新聞 3. インターネット 4. 区役所で聞いた 5. 社会福祉協議会で聞いた 6. ケアマネジャーや介護職員などから聞いた 7. 支援団体の広報活動や住民相談で知った 8. その他()				

【アンケート調査比較表】北区地域包括ケア推進計画のためのアンケート

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○、オプション項目:オ

設問文		選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問6. 社会参加について						
問 6_Q1	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q2	新聞を読んでいますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q3	本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q5	友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q6	家族や友人の相談に乗っていますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q7	病人を見舞うことができますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q8	若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ			
問 6_Q9	趣味はありますか。 ※「はい」と答えた方は、○を付けた後に、カッコ内に具体的な内容をお書きください。	1. はい(具体的に:) 2. 思いつかない	オ			
問 6_Q10	生きがいはありますか。 ※「生きがいあり」と答えた方は、○を付けた後に、カッコ内に具体的な内容をお書きください。	1. 生きがいあり(具体的に:) 2. 思いつかない		基本目標2		
問 6_Q11	以下の 地域活動 にどのくらいの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)	-	-		以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)	
①	①ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	○			
②	②スポーツ関係のグループやクラブ	〃	○			
③	③趣味関係のグループ	〃	○			
④	④学習・教養サークル	〃	○			
⑤	⑤(自主グループ、ご近所体操教室など)介護予防のための通いの場	〃	○	基本目標1		
⑥	⑥シニアクラブ(老人クラブ)	〃	○			
⑦	⑦町内会・自治会	〃	○			
⑧	⑧収入のある仕事	〃	○			
問 6_Q12	【会・グループに参加している人にうかがいます】 活動の場所には 、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ			【会・グループに参加している人にうかがいます】 参加活動の場所には、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。(○は1つ)	
問 6_Q13	【問6_Q11①～⑧で一つでも「1」～「5」に○をつけた方にうかがいます】 地域活動に参加されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1 社会とのつながり 2 生きがいのため 3 健康のため 4 収入を得るため(就労的な活動の場合) 5 趣味活動のため 6 身近な人との交流のため 7 地域貢献のため 8 その他()				

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 6_Q14	【問6_Q11①～⑧で一つでも「1」～「5」に○をつけた方にうかがいます】 現在参加されている地域活動について、何か困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)		1 活動場所が遠い 2 金銭的な負担が大きい 3 活動日が合わない 4 人間関係に負担を感じる 5 どんな場所であれば活動できるかわからない 6 活動の担い手不足や後継者不足 7 関心のある行事や活動がない 8 その他() 9 特に困っていることはない				
問 6_Q15	【問6_Q11①～⑧でいずれも「6」に○をつけた方にうかがいます】 地域活動に参加されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		1 ほかの予定が忙しく、時間が取れない 2 健康状態に自信がない 3 関心のある行事や活動がない 4 きっかけがない 5 開催情報や参加方法がわからない 6 地域外の活動に参加している 7 地域にかかわりたくない 8 役割を課されたくない 9 参加場所が遠く、移動が大変 10 知らない人との交流が苦手 11 その他() 12 特に理由はない				
問 6_Q16	【すべての人にうかがいます】 あなたが地域活動に参加しやすくなるには、どのような要素があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		1 活動や団体の情報を紹介してくれる 2 友人・知人と一緒に参加できる 3 時間や期間にあまりしばられない 4 身近なところに活動できる場がある 5 申込等の手続きが不要 6 世話人やリーダーがいる 7 参加することでメリットがある(報酬など) 8 自分の趣味や興味と関連がある 9 参加費用が無料、または非常に安い 10 活動資金の補助や援助がある 11 具体的な役割(自分がどのように活動に貢献や支援ができるのか)が示されている 12 その他() 13 条件によらず参加したくない				
問 6_Q17	【すべての人にうかがいます】 地域活動の情報について、どのような手段であれば、情報を得やすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		1 インターネット(北区内の通いの場や介護サービス事業者等に特化したウェブサイト) 2 インターネット(東京都全域の通いの場等を掲載したウェブサイト) 3 インターネット(LINEやXなどのSNS) 4 近所の人や友人からの口コミや紹介 5 区役所や図書館等の公共施設での掲示 6 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)からの情報提供 7 町会からの情報提供 8 その他()				
問 6_Q18	まだ参加していない地域活動の中で、どのような活動に参加してみたいですか。		1 ボランティアのグループ 2 スポーツ関係のグループやクラブ 3 趣味関係のグループ 4 学習・教養サークル 5 (自主グループ・ご近所体操教室など)介護予防のための通いの場 6 シニアクラブ(老人クラブ) 7 町内会、自治会 8 収入のある仕事 9 その他() 10 特にない				
問 6_Q19	地域住民の有志による活動(健康づくりや趣味等)を行い、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加してみたいと思いますか。(それぞれ○は1つ)		-	-			
①	①参加者として		1. 是非参加したい 2. 参加しても良い 3. 参加したくない 4. 既に参加している	○			
②	②企画・運営(お世話役)として		〃	○			
問 6_Q20	この1年間に以下のような活動に参加しましたか。(○は1つ)		-	-			
①	①高齢者等を支援する活動(見守りなどを含む)		1. 参加した 2. 参加していないが、機会があれば参加したい 3. 参加していないし、今後も参加するつもりはない				
②	②子どもや子育てを支援する活動		〃				
③	③町内会・自治会、シニアクラブ(老人クラブ)などの地域活動		〃				

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問7. 仕事について							
問7_Q1	あなたは現在働いていますか。働いている方は勤務形態についてもお答えください。(あてはまるものすべてに○)		1. フルタイム(週35時間以上) 2. 短時間・不定期(週35時間未満) 3. 自営業 4. シルバー人材センターの会員 5. その他(具体的に) 6. 働いていない				
問7_Q2	あなたは今後、働きたいと思いますか。現在働いている方も、今後どのように働きたいかをお答えください。(あてはまるものすべてに○)		1. フルタイムで働きたい(週35時間以上) 2. 短時間で働きたい(週35時間未満) 3. 不定期で働きたい 4. 働きたくない 5. わからない				
問7_Q3	【Q2で「1. フルタイムで働きたい(週35時間以上)」「2. 短時間で働きたい」「3. 不定期で働きたい」と答えた方に伺います】働きたいのは、どのような理由からですか。(○は 3 つまで)		1. 生活費を得るため 2. 借金・ローンの返済 3. 小遣いを得るため 4. 将来への蓄え(預貯金)のため 5. 健康のため 6. いきがいを得るため 7. 社会貢献・社会とのつながり 8. 時間に余裕があるため 9. 家族・知人などの勧め 10. 持っている技術や資格を活かすため 11. 何もしないでいると退屈なため 12. その他(具体的に)				
問7_Q4	【Q2で「2. 短時間で働きたい」「3. 不定期で働きたい」をしたい」と答えた方に伺います】月にどのくらいの報酬がほしいですか。(○は1つ)		1. 1万円未満 2. 1万円以上3万円未満 3. 3万円以上5万円未満 4. 5万円以上 5. 交通費程度 6. わからない				
問8. たすけあいについて							
問8_Q1	あなたと周りの人の「たすけあい」についておうかがいします。それぞれあてはまるものに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。(それぞれあてはまるものすべてに○)		-	-			
①	①あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人		1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない	○			
②	②反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人		〃	○			
③	③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人		〃	○			
④	④反対に、看病や世話をしてあげる人		〃	○			
問8_Q2	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)		1. 自治会・町内会・シニアクラブ(老人クラブ) 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・看護師・薬局 5. 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)・区役所 6. その他(具体的に) 7. そのような人はいない	オ			
問8_Q3-1	(友人関係について伺います。)友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)		1. 毎日 2. 週に何度か 3. 月に何度か 4. 年に何度か 5. ほとんどない	オ			1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない
問8_Q3-2	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ) ※同じ人には何度会っても 1 人と数えることとします。		1. 0 人(いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上	オ			
問8_Q3-3	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)		1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事の同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他(具体的に) 8. いない	オ			
問8_Q3-4	友人・知人と電話やメール、手紙をやり取りする頻度はどれくらいですか。(○は1つ)		1. 毎日 2. 週に何度か 3. 月に何度か 4. 年に何度か 5. ほとんどない				1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 8_Q4	あなたは災害時・緊急時に人の手助けができますか。(○は1つ)		1. できる 2. できない 3. わからない				
問 8_Q5	ご近所の方とはどの程度付き合いをしていますか(○は1つ)		1. 日常的に会って話をしたり、たすけあったりできる関係(定期的なごみ出し、買い物などの手伝い等) 2. 頼まれたときにはたすけあえる関係(病気の時の買い物、留守中の植木の水やり等) 3. お互いに訪問しあう程度 4. 立ち話をする程度 5. あいさつをする程度 6. ほとんどつきあいはない				
問 8_Q6	あなたはご近所の方を信頼できますか。(○は1つ)		1. 信頼できる 2. どちらかと言えば信頼できる 3. どちらかと言えば信頼できない 4. 信頼できない				
問 8_Q7	あなたは、ご近所の方から何らかの役割を期待されたり、頼りにされていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願い事など)(○は1つ)		1. とてもそう思う 2. そう思う 3. ややそう思う 4. あまりそう思わない 5. まったくそう思わない				
問 8_Q8	次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。(ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。)(それぞれ○は1つ) (回答例)子どもや10代の若者→(ときどきあるの)「2」に○		-	-			
①	①子どもや10代の若者		1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない				
②	②20～40代くらいの人		〃				
③	③50～60代くらいの人		〃				
④	④70代かそれより高齢の方		〃				
問9. 健康について							
問 9_Q1	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)		1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	○			
問 9_Q2	あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を0点として、あてはまる点数1つに○をつけてください)。		10点(とても幸せ) 9点 8点 7点 6点 5点 4点 3点 2点 1点 0点(とても不幸)	○			
問 9_Q3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○			
問 9_Q4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○			
問 9_Q5	生活様式や人付き合いの変化から、孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)		1. 非常に不安 2. やや不安 3. どちらともいえない 4. あまり不安ではない 5. まったく不安ではない				
問 9_Q6	お酒は飲みますか。(○は1つ)		1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. 以前は飲んでしたが、今はやめた 5. もともと飲まない	オ			1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
問 9_Q7	タバコは吸っていますか。(○は1つ)		1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. ほとんど吸わない 4. 以前は吸っていたが、今はやめた 5. もともと吸っていない	○			1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
問 9_Q8	あなたには、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ		基本目標4		
問 9_Q9	あなたには、かかりつけ歯科医がいますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ				
問 9_Q10	あなたには、かかりつけ薬剤師・薬局がありますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ				

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 9_Q11	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)		1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他(具体的に)	○			
問 9_Q12	あなたがいつまでも健康に長生きできるよう、取り組んでいることはありますか。また、取り組んでみたいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)		1. 定期的(概ね週1回以上)に運動や体操をする 2. 町会や自治会などの活動に参加する 3. 定期的(概ね週1回以上)に仲間と趣味などの活動をする 4. 仕事(非常勤含む)やボランティア活動をする 5. 地域の自主グループ活動に参加する 6. 区の介護予防や健康づくりの事業に参加する 7. その他() 8. 特にない				
問 9_Q13	終活についてどのように考えていますか。 (あてはまるものすべてに○) ※終活とは、人生の最期を自分らしく豊かに過ごし、後を託す家族の負担を軽減するための活動のことをいいます。		1. すでに準備している 2. まだ始めていないが、今後、準備を進めたい 3. 関心がある 4. 不安に思っている 5 終活という言葉や活動を知らない 6 関心がない 7 その他				1. すでに準備している 2. まだ始めていないが、今後、準備を進めたい 3. 関心がある 4. 不安に思っている 5 終活に関心がない 6 その他
問 9_Q14	終活の準備にあたって、不安に思っていることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)		1. 終活の始め方がわからない 2. 身近に相談したり、頼ったりする人がいない 3. 終活への十分な資力ががない 4. 将来的に判断能力が低下したとき、自分が望む終活が適切に進められるかどうか 5. 民間事業者の死後事務サービス等の内容・金額などが明確でない、または理解できるような説明がない 6. 死後事務サービスを、自分の死後に希望する通り適正に行ってもらえるかどうか 7. どの事業者を選んだら良いのか分からない 8. 終活を準備しても、事前に内容を伝える人がいない 9. その他 10. 特に不安はない				1. 終活の始め方がわからない 2. 身近に相談したり、頼ったりする人がいない 3. 終活への十分な資力ががない 4. 将来的に判断能力が低下した場合、自身で準備や判断ができるかどうか 5. 民間事業者の死後事務サービス等の内容・金額などが明確でない、または理解できるような説明がない 6. 死後事務サービスを、自分の死後に希望する通り適正に行ってもらえるかどうか 7. どの事業者を選んだら良いのか分からない 8. 終活を準備しても、事前に内容を伝える人がいない 9. その他 10. 特に不安はない
問10. 在宅療養について							
問 10_Q1	あなたが、もし入院生活から退院し、在宅で医療を受けながら生活する場合、どこに相談しますか。(○は3つまで)		1. 区役所 2. 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター) 3. 訪問看護ステーション 4. ケアマネジャー 5. かかりつけ医 6. 医師会の電話相談 7. 病院の医師 8. 病院の看護師 9. 病院の医療相談室 10. 民生委員 11. 社会福祉協議会 12. 知人・友人 13. その他(具体的に) 14. どこにも相談しない				
問 10_Q2	あなたが、もしがんや脳梗塞などにより長期の療養が必要となった場合、理想として自宅での療養を続けたいと考えていますか。(○は1つ)		1. 続けたい(⇒ Q3 へ) 2. 続けたいと思わない(⇒ Q5 へ) 3. わからない(⇒ Q5 へ)				
問 10_Q3	【Q2で「1. 続けたい」と答えた方におうかがいします】実際に自宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)		1. 可能だと思う(⇒ Q5 へ) 2. 難しいと思う(⇒ Q4 へ) 3. わからない(⇒ Q5 へ)		基本目標3		

①要介護認定を受けていない方

※必須項目:○、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 10_Q4		【Q3で「2. 難しいと思う」と答えた方におうかがいします】自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか(○は3つまで)	1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから 2. 急に病状が変わった時の対応が不安だから 3. 往診してくれる医師がいないから 4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから 5. 家族に負担をかけるから 6. 看護や介護してくれる家族がいないから 7. 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから 8. お金がかかるから 9. その他(具体的に)				
問 10_Q5		あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか。(○は1つ)	1. 自宅 2. 病院などの医療機関 3. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 4. 高齢者向け住宅 5. その他(具体的に) 6. わからない				
問 10_Q6		最期を迎えたい場所について、周囲の人と話し合う機会が必要だと感じますか。(○は1つ)	1. 必要(⇒Q7へ) 2. 不要				
問 10_Q7		【Q6で「1. 必要」と答えた方におうかがいします】どなたとお話しようと思いますか(あてはまるものすべてに○)	1 家族・親族 2 友人・知人 3 医療・介護従事者 4 その他()				
問11. 介護の状況などについて							
問 11_Q1		あなたは、高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)について、どの程度ご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 名前を聞いたことがある 2. どこにあるか知っている 3. センターの役割を知っている 4. 相談や連絡をしたことがある 5. 知らない、聞いたことがない		基本目標4		
問 11_Q2		あなたは、ご家族または親族の介護をしていますか。(○は1つ)	1. 現在、1人の介護をしている(⇒ Q3 へ) 2. 現在、2人以上の介護をしている(⇒ Q3 へ) 3. 過去に介護したことはあるが、今はしていない(⇒ Q3 へ) 4. 介護をしたことはない(⇒ P15 自由記入欄へ)				
問 11_Q3		【Q2 で「1～3」と答えた方にうかがいます。】介護をするうえで困っていること(困っていたこと)は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 精神的につらい 2. 自分の健康に不安がある 3. かわりを頼める人がいない 4. 体力的につらい 5. 自分の時間がとりにくい 6. 経済的な負担が大きい 7. 仕事との両立が難しい 8. 希望する介護サービスが利用できない 9. 介護の方法がわからない 10. 相談できる人がいない 11. 孫や子どもの世話もしなければならない 12. その他(具体的に) 13. 特に困っていることはない				
自由意見		これからの高齢者施策や地域づくりのあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。	(自由記述)				

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
		この調査票をお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)	1. あて名ご本人(ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含みます。) 2. あて名ご本人の配偶者(夫・妻) 3. あて名ご本人の兄弟姉妹 4. あて名ご本人の子ども 5. あて名ご本人の子どもの配偶者(夫・妻) 6. その他()				
問1.家族や生活状況							
	問1_Q1	あなたの性別をお答えください。(○は1つ)	1. 男性 2. 女性 3. その他				
	問1_Q2	あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)	1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳 4. 80～84歳 5. 85～89歳 6. 90歳以上				
	問1_Q3	あなたの要介護度(要支援度)をお答えください。(○は1つ)	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない				
	問1_Q4	家族構成をお教えてください。(○は1つ)	1. 1人暮らし 2. 配偶者・パートナーと同居(配偶者等65歳以上) 3. 配偶者・パートナーと同居(配偶者等64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他()	○			1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他()
	問1_Q5	要介護(要支援)認定を受けた主な原因は何ですか。(○は1つ)	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. 骨や関節の痛み 15. 精神疾患 16. 事故 17. 薬の副作用 18. その他() 19. 不明	オ			
	問1_Q6	主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○は1つ)	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟姉妹 7. ヘルパー等介護サービスの人 8. その他() 9. 介護・介助は必要ない	オ			
	問1_Q7	あなたの収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 仕事による収入 2. 年金 3. 預貯金の切り崩し 4. 利子・配当・家賃・不動産収入 5. 仕送り・援助 6. 生活保護 7. その他()				
	問1_Q8	昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入(税込)総額はどれくらいですか。(○は1つ)	1. 100万円未満 2. 100万円以上200万円未満 3. 200万円以上300万円未満 4. 300万円以上500万円未満 5. 500万円以上700万円未満 6. 700万円以上1,000万円未満 7. 1,000万円以上 8. わからない				
	問1_Q9	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	○			
	問1_Q10	お住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)	1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅(区・都営、UR、公社等) 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借間 7. サービス付き高齢者向け住宅 8. 有料老人ホーム 9. 介護保険施設(特養・老健) 10. 親族宅 11. その他()	オ			

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 1_Q11	この1年間に住み替えをしましたか。(○は1つ)		1. はい(⇒ Q12 へ) 2. いいえ(⇒ Q13 へ)				
問 1_Q12	【Q11 で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】どこから住み替えましたか。(○は1つ)		1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅(区・都営、UR、公社等) 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借間 7. サービス付き高齢者向け住宅 8. 有料老人ホーム 9. 介護保険施設(特養・老健) 10. 親族宅 11. その他()				
問 1_Q13	今後、住み替えを希望しますか。(○は1つ)		1. サービス付き高齢者向け住宅 2. 有料老人ホーム 3. 介護保険施設(特養・老健) 4. 親族宅 5. その他(持家から賃貸住宅等) 6. 自宅を改修して住み続ける 7. このまま住み続ける				
問 1_Q14	ご自身の住んでいる地域を「住みやすい地域」だと感じますか。(○は1つ)		1. とても住みやすい 2. まあ住みやすい 3. やや住みにくい 4. 住みにくい				
問2.からだを動かすことについて							
問 2_Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 2_Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 2_Q3	15 分位続けて歩いていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 2_Q4	週にどの程度外出していますか。(○は1つ)		1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	○		週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)	
問 2_Q5	Q5. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)		1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	○			
問 2_Q6	Q6. 外出を控えていますか。(○は1つ)		1. はい(⇒ Q7へ) 2. いいえ(⇒ Q8へ)	オ			
問 2_Q7	【Q6で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)		1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他()	オ			
問 2_Q8	外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()	オ			
問3.食えることについて							
問 3_Q1	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)		1. はい(⇒ Q2 へ) 2. いいえ(⇒ Q3 へ)	オ			
問 3_Q2	【Q1で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】減少の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		1. 食欲不振のため 2. 病気のため 3. 意識的に体重管理をしたため 4. その他				
問 3_Q3	あなたの身長と体重を教えてください。		身長()cm 体重()kg	○		設問文なし	
問 3_Q4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○			
問 3_Q5	お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	オ			

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 3_Q6	口の渇きが気になりますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	オ			
問 3_Q7	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	オ			
問 3_Q8	入れ歯は使っていますか。(○は1つ)		1. 使っている 2. 作ったが使っていない 3. 作っていない				
問 3_Q9	現在のご自分の歯の本数と入れ歯の使用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は親知らずを含めて 32 本です)。(○は1つ)		1. 自分の歯は20 本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20 本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19 本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19 本以下、入れ歯の利用なし	○			
問 3_Q10	【Q9で「1」または「3」と答えた方(入れ歯を使っている方)にうかがいます。】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	オ			
問 3_Q11	現在、歯科診療を受けていますか。(○は1つ)		1. 通院 2. 往診・訪問歯科診療 3. 受けていない				
問 3_Q12	どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)		1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	○			
問4.物忘れ・認知症							
問 4_Q1	物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	○			
問 4_Q2	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ				
問 4_Q3	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	オ			
問 4_Q4	今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ	オ			
問5.毎日の生活							
問 5_Q1	バスや電車を使って 1 人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q2	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q3	自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q4	自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q5	自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)		1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	○			
問 5_Q6	携帯電話またはスマートフォン・タブレットを使っていますか。(○は1つ)		1. 携帯電話(ガラケー)を使っている(⇒ Q7へ) 2. スマートフォンまたはタブレットを使っている (⇒ Q7へ) 3. 携帯電話とスマートフォン両方を使っている(⇒ Q7へ) 4. 使っていない(⇒ Q8へ)		基本目標2		1. 携帯電話(ガラケー)を使っている(⇒ Q8へ) 2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている (⇒ Q8へ) 3. 両方使っている(⇒ Q8へ) 4. 使っていない(⇒ Q9へ)
問 5_Q7	【Q6で「1. 携帯電話(ガラケー)を使っている」「2. スマートフォンまたはタブレットを使っている」「3. 携帯電話とスマートフォン両方を使っている」と答えた方にうかがいます。】通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)		1. メール 2. 写真撮影 3. ゲーム 4. 電卓 5. 動画・TV 視聴 6. ネットショッピング 7. 健康管理 8. ネット検索 9. SNS(LINE(ライン)・Facebook・Twitter等) 10. ネットバンク 11. 決済サービス 12. 地図・交通情報の検索 13. 天気予報・ニュース閲覧 14. イベントの申し込みや各種電子申請 15. その他() 16. 通話以外で使用する機能はない			【Q6で「1. 携帯電話を使っている」「2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている」「3. 両方使っている」と答えた方にうかがいます。】通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)	
問 5_Q8	パソコンを使っていますか。(○は1つ)		1. 使っている(⇒Q9 へ) 2. 使っていない(⇒Q10 へ)				

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 5_Q9		【Q8で「1. 使っている」と答えた方に伺います】どのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)	1. メール 2. ゲーム 3. 動画・TV視聴 4. ネットショッピング 5. 文書作成 6. ネット検索 7. SNS(LINE(ライン)・Facebook・Twitter等) 8. ネットバンク 9. 地図・交通情報の検索 10. 天気予報・ニュース閲覧 11. イベントの申し込みや各種電子申請 12. その他()				
問 5_Q10		あなたが日常生活で、近所の人に手助けをしてほしいことがあれば、それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 話し相手・相談相手がいない 2. 日常の外出の移動手段(買い物・通院等) 3. 遠い場所への外出 4. 高いところの作業(天袋、電球の交換等) 5. 簡単な修理 6. 重い物の扱いや運搬(布団、灯油、米、粗大ゴミ) 7. かがむ作業(風呂掃除・雑巾がけ等) 8. 手先や腕を使う作業(蓋の開閉、ドアノブ等) 9. 書類整理・事務手続き(役所関係、契約等) 10. 文字が読みづらい(回覧板、新聞等) 11. 屋外作業(草刈、庭木の手入れ等) 12. ごみの分別や集積場まで出しに行くこと 13. 部屋の掃除・大掃除や片付け 14. 食事のしたく(調理、栄養バランス等) 15. 衣服の洗濯や片付け 16. 電化製品やスマートフォン・インターネットの操作 17. その他() 18. 特に困っていることはない				
問 5_Q11		【Q10で「1」～「17」を答えた方にうかがいます。】回答した困りごとについて、主にどのように対処されていますか。(あてはまるものすべてに○)	1 家族や親せきのサポート 2 近所の人たちのサポート 3 友人や知人のサポート 4 有償・無償ボランティアのサポート 5 シルバー人材センターのサービス 6 社会福祉協議会の友愛ホームサービス 7 介護保険サービス 8 ほかの民間事業者のサービス 9 自力で何とかしている 10 その他() 11 対処できずに困っている				1 家族や親せきのサポート 2 近所の人たちのサポート 3 友人や知人のサポート 4 有償・無償ボランティアのサポート 5 シルバー人材センターのサービス 6 介護保険サービス 7 ほかの民間事業者のサービス 8 自力で何とかしている 9 その他() 10 対処できずに困っている
問 5_Q12		地域の中で、自立した生活を続けていくために、どのようなサービスや地域の支え合いがあるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)	1.食事の支度や片付け 2.弁当などの配食 3.自宅内の掃除や片付け 4.大掃除 5.布団干し 6.洗濯や片付け 7.ごみの分別やごみ出し 8.買い物(付き添い・代行) 9.買い物(移動販売や宅配) 10.簡単な修理や電球替え 11.庭の手入れ・花や木の水やり 12.生活に関する相談・話し相手 13.見守り・安否確認 14.健康づくりや介護予防の教室(体操など) 15.サロンなどの交流会、会食会 16.その他() 17.必要ない 18.わからない				
問 5_Q13		成年後見制度※をご存じですか。 ※成年後見制度:認知症などで物事の判断が困難になった場合、本人に代わって財産管理や契約行為等を行う後見人を選定し、法律的に保護・支援する制度です。後見人には、家族や親族の他に弁護士・司法書士・社会福祉士などが選任されます。	1. 知っている 2. 知らない		基本目標3		
問 5_Q14		【Q13で「1. 知っている」と回答した方へ】どのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)	1. 広報紙やパンフレット 2. テレビやラジオ、新聞 3. インターネット 4. 区役所で聞いた 5. 社会福祉協議会で聞いた 6. ケアマネジャーや介護職員などから聞いた 7. 支援団体の広報活動や住民相談で知った 8. その他()				
問 5_Q15		あなたが、もしがんや脳梗塞などにより長期の療養が必要となった場合、理想として自宅での療養を続けたいと思いますか。(○は1つ)	1. 続けたい(⇒Q16 へ) 2. 続けたいと思わない(⇒Q18 へ) 3. わからない(⇒Q18 へ)				
問 5_Q16		【Q15 で「1. 続けたい」と答えた方にうかがいます】実際に自宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)	1. 可能だと思う(⇒Q18 へ) 2. 難しいと思う(⇒Q17 へ) 3. わからない(⇒Q18 へ)		基本目標3		
問 5_Q17		【Q.16 で「2. 難しいと思う」と答えた方にうかがいます。】自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)	1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから 2. 急に病状が変わった時の対応が不安だから 3. 往診してくれる医師がいないから 4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから 5. 家族に負担をかけるから 6. 看護や介護してくれる家族がいないから 7. 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから 8. お金がかかるから 9. その他()				

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 5_Q18	あなたが病気などで人生の最期を迎えるときが来た場合、どこで過ごしたいと思いますか。(○は1つ)	1. 自宅 2. 病院などの医療機関 3. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 4. サービス付き高齢者住宅 5. その他() 6. わからない					
問 5_Q19	最期を迎えたい場所について、周囲の人と話し合う機会が必要だと感じますか。(○は1つ)	1. 必要(⇒Q20へ) 2. 不要					
問 5_Q20	【Q19で「1. 必要」と答えた方におうかがいします】どなたとお話しようと思えますか(あてはまるものすべてに○)	1 家族・親族 2 友人・知人 3 医療・介護従事者 4 その他()					
問6. 社会参加について							
問 6_Q1	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q2	新聞を読んでいますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q3	本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q5	友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q6	家族や友人の相談に乗っていますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q7	病人を見舞うことができますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q8	若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ	オ				
問 6_Q9	趣味はありますか。 ※「はい」と回答した方は、○を付けた後に、カッコ内に具体的な内容をお書きください。	1. はい(具体的に:) 2. 思いつかない	オ				
問 6_Q10	生きがいはありますか。 ※「生きがいあり」と答えた方は、○を付けた後に、カッコ内に具体的な内容をお書きください。	1. 生きがいあり(具体的に:) 2. 思いつかない		基本目標2			
問 6_Q11	以下の 地域活動 にどのくらいの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)	-	-				以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)
①	①ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	○				
②	②スポーツ関係のグループやクラブ	〃	○				
③	③趣味関係のグループ	〃	○				
④	④学習・教養サークル	〃	○				
⑤	⑤介護予防のための通いの場	〃	○	基本目標1			
⑥	⑥シニアクラブ	〃	○				
⑦	⑦町内会・自治会	〃	○				
⑧	⑧収入のある仕事	〃	○				
問 6_Q12	【会・グループに参加している人にうかがいます】 活動の場所 には、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。(○は1つ)	1. はい 2. いいえ			【会・グループに参加している人にうかがいます】 参加活動の場所には、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。(○は1つ)		

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問6_Q13	【問6_Q11①～⑧で一つでも「1」～「5」に○をつけた方にうかがいます】 地域活動に参加されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		1 社会とのつながり 2 生きがいのため 3 健康のため 4 収入を得るため(就労的な活動の場合) 5 趣味活動のため 6 身近な人との交流のため 7 地域貢献のため 8 その他()				
問6_Q14	【問6_Q11①～⑧で一つでも「1」～「5」に○をつけた方にうかがいます】 現在参加されている地域活動について、何か困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)		1 活動場所が遠い 2 金銭的な負担が大きい 3 活動日が合わない 4 人間関係に負担を感じる 5 どんな場所であれば活動できるかわからない 6 活動の担い手不足や後継者不足 7 関心のある行事や活動がない 8 その他() 9 特に困っていることはない				
問6_Q15	【問6_Q11①～⑧でいずれも「6」に○をつけた方にうかがいます】 地域活動に参加されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		1 ほかの予定が忙しく、時間が取れない 2 健康状態に自信がない 3 関心のある行事や活動がない 4 きっかけがない 5 開催情報や参加方法がわからない 6 地域外の活動に参加している 7 地域にかわりたくない 8 役割を課されたくない 9 参加場所が遠く、移動が大変 10 知らない人との交流が苦手 11 その他() 12 特に理由はない				
問6_Q16	【すべての人にうかがいます】 あなたが地域活動に参加しやすくなるには、どのような要素があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		1 活動や団体の情報を紹介してくれる 2 友人・知人と一緒に参加できる 3 時間や期間にあまりしばられない 4 身近なところに活動できる場がある 5 申込等の手続きが不要 6 世話人やリーダーがいる 7 参加することでメリットがある(報酬など) 8 自分の趣味や興味と関連がある 9 参加費用が無料、または非常に安い 10 活動資金の補助や援助がある 11 具体的な役割(自分がどのように活動に貢献や支援ができるのか)が示されている 12 その他() 13 条件によらず参加したくない				
問6_Q17	【すべての人にうかがいます】 地域活動の情報について、どのような手段であれば、情報を得やすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		1 インターネット(北区内の通いの場や介護サービス事業者等に特化したウェブサイト) 2 インターネット(東京都全体の通いの場を掲載したウェブサイト) 3 インターネット(LINEやXなどのSNS) 4 近所の人や友人からの口コミや紹介 5 区役所や図書館等の公共施設での掲示 6 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)からの情報提供 7 町会からの情報提供 8 その他()				
問6_Q18	まだ参加していない地域活動の中で、どのような活動に参加してみたいですか。		1 ボランティアのグループ 2 スポーツ関係のグループやクラブ 3 趣味関係のグループ 4 学習・教養サークル 5 (自主グループ・ご近所体操教室など)介護予防のための通いの場 6 シニアクラブ(老人クラブ) 7 町内会、自治会 8 収入のある仕事 9 その他() 10 特にない				
問6_Q19	地域住民の有志による活動(健康づくりや趣味等)を行い、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加してみたいと思いますか。(それぞれ○は1つ)		-	-			
①	①参加者として		1. 是非参加したい 2. 参加しても良い 3. 参加したくない 4. 既に参加している	○			
②	②企画・運営(お世話役)として		〃	○			
問7. 助け合い							
問7_Q1	あなたと周りの人の「たすけあい」について伺います。それぞれあてはまるものに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。(それぞれあてはまるものすべてに○)		-				
①	①あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人		1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない	○			
②	②反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人		〃	○			

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	③	③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	〃	○			
	④	④反対に、看病や世話をしてあげる人	〃	○			
	問7_Q2	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)	1. 自治会・町内会・シニアクラブ(老人クラブ) 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・看護師・薬局 5. 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)・区役所 6. その他() 7. そのような人はいない	オ			
	問7_Q3-1	(友人関係について伺います。)友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)	1. 毎日 2. 週に何度か 3. 月に何度か 4. 年に何度か 5. ほとんどない	オ			1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない
	問7_Q3-2	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ) ※同じ人には何度会っても 1 人と数えることとします。	1. 0 人(いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10 人以上	オ			
	問7_Q3-3	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事の同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他() 8. いない	オ			
	問7_Q3-4	友人・知人と電話やメール、手紙をやり取りする頻度はどれくらいですか。(○は1つ)	1. 毎日 2. 週に何度か 3. 月に何度か 4. 年に何度か 5. ほとんどない				1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない
	問7_Q4	あなたは災害時・緊急時に人の手助けができますか。(○は1つ)	1. できる 2. できない 3. わからない				
	問7_Q5	ご近所の方とはどの程度付き合いをしていますか(○は1つ)	1. 日常的に会って話をしたり、たすけあったりできる関係(定期的なごみ出し、買い物 などの手伝い等) 2. 頼まれたときにはたすけあえる関係(病気の時の買い物、留守中の植木の水やり等) 3. お互いに訪問しあう程度 4. 立ち話をする程度 5. あいさつをする程度 6. ほとんどつきあいはない				
	問7_Q6	あなたのご近所の方を信頼できますか。(○は1つ)	1. 信頼できる 2. どちらかと言えば信頼できる 3. どちらかと言えば信頼できない 4. 信頼できない				
	問7_Q8	あなたは、ご近所の方から何らかの役割を期待されたり、頼りにされていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お 手伝いやお願い事など)(○は1つ)	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. ややそう思う 4. あまりそう思わない 5. まったくそう思わない				
	問7_Q9	近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、あなたは、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。(ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。)それぞれあてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○は 1 つ)	-				
	①	①子どもや10代の若者	1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない				
	②	②20～40代くらいの人	〃				
	③	③50～60代くらいの人	〃				
	④	④70代かそれより高齢の方	〃				
問8. 健康							
	問8_Q1	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	○			
	問8_Q2	あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を0点 として、あてはまる点数1つに○をつけてください)。	10点(とても幸せ) 9点 8点 7点 6点 5点 4点 3点 2点 1点 0 点(とても不幸)	○			

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問 8_Q3	あなたは、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ		基本目標4		
問 8_Q4	あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ				
問 8_Q5	あなたは、かかりつけ薬剤師・薬局がありますか。(○は1つ)		1. はい 2. いいえ				
問 8_Q6	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。		1. はい 2. いいえ	○			
問8 _Q7	生活様式や人付き合いの変化から、孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)		1. 非常に不安 2. やや不安 3. どちらともいえない 4. あまり不安ではない 5. まったく不安ではない				
問 8_Q8	お酒は飲みますか。(○は1つ)		1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. 以前は飲んでいたが、今はやめた 5. もともと飲まない	オ			1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
問 8_Q9	タバコは吸っていますか。(○は1つ)		1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. ほとんど吸わない 4. 以前は吸っていたが、今はやめた 5. もともと吸っていない	○			1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
問 8_Q10	終活についてどのように考えていますか。(あてはまるものすべてに○) ※終活とは、人生の最期を自分らしく豊かに過ごし、後を託す家族の負担を軽減するための活動のことをいいます。		1 すでに準備している 2 まだ始めていないが、今後、準備を進めたい 3 関心がある 4 不安に思っている 5 終活という言葉や活動を知らない 6 関心がない 7 その他				1 すでに準備している 2 まだ始めていないが、今後、準備を進めたい 3 関心がある 4 不安に思っている 5 終活に関心がない 6 その他
問 8_Q11	終活の準備にあたって、不安に思っていることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)		1 終活の始め方がわからない 2 身近に相談したり、頼ったりする人がいない 3 終活への十分な資力がない 4 将来的に判断能力が低下したとき、自分が望む終活が適切に進められるかどうか 5 民間事業者の死後事務サービス等の内容・金額などが明確でない、または理解できるような説明がない 6 死後事務サービスを、自分の死後に希望する通り適正に行ってもらえるかどうか 7 どの事業者を選んだら良いのか分からない 8 終活を準備しても、事前に内容を伝える人がいない 9 その他 10 特に不安はない				1 終活の始め方がわからない 2 身近に相談したり、頼ったりする人がいない 3 終活への十分な資力がない 4 将来的に判断能力が低下した場合、自身で準備や判断ができるかどうか 5 民間事業者の死後事務サービス等の内容・金額などが明確でない、または理解できるような説明がない 6 死後事務サービスを、自分の死後に希望する通り適正に行ってもらえるかどうか 7 どの事業者を選んだら良いのか分からない 8 終活を準備しても、事前に内容を伝える人がいない 9 その他 10 特に不安はない
問9. 介護保険サービスについて							
問 9_Q1	あなたは現在、ケアプランを作成・利用していますか。(○は1つ)		1. 現在作成・利用している(⇒ Q2へ) 2. 現在作成していない(⇒ Q3へ) 3. わからない(⇒Q4へ)				
問 9_Q2	【Q1で「1. 現在作成・利用している」と答えた方にうかがいます。】 以下の介護保険サービスを利用していますか。利用している場合は、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)						
1	1. ケアプラン作成(居宅介護支援)		1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. 未利用				
2	2. 訪問介護		//				
3	3. 訪問入浴介護		//				
4	4. 訪問看護		//				
5	5. 訪問リハビリテーション		//				
6	6. 医師や薬剤師による療養上の指導(居宅療養管理指導)		//				
7	7. 通所介護(デイサービス)		//				
8	8. 通所リハビリテーション(デイケア)		//				
9	9. 短期入所生活介護(ショートステイ)		//				
10	10. 短期入所療養介護(医療ショートステイ)		//				
11	11. 福祉用具貸与		//				
12	12. 福祉用具販売		//				
13	13. 住宅改修		//				
14	14. 認知症対応型通所介護		//				
15	15. 小規模多機能型居宅介護		//				
16	16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看		//				
17	17. 夜間対応型訪問介護		//				
18	18. 看護小規模多機能型居宅介護		//				

②要介護(要支援)認定を受けている方

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	9期指標	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 9_Q3	【Q1で「2. 現在作成していない」と答えた方にうかがいます。】介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 自分で生活できるから 2. 家族の介護で十分だから 3. 他人を家に入れたくないから 4. 利用者負担が払えないから 5. 利用したいサービスが受けられないから 6. 利用したいサービスがないから 7. サービス内容がわからないから 8. 利用方法がわからないから 9. 外出するのが大変だから 10. 病院に入院して、医療保険の適用となっているから 11. その他() 12. 特に理由はない				
	問 9_Q4	過去1年間に、病院に入院されたことはありますか。(○は1つ)	1. はい(⇒ Q5 へ) 2. いいえ(⇒ Q6 へ)				
	問 9_Q5	【Q4 で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】退院時に困ったことはあります か。(あてはまるものすべてに○)	1. 在宅生活の維持(お風呂、トイレ、買い物、食事など) 2. ケアマネジャーの確保 3. 住宅改修 4. 退院後の見守りの体制 5. 転院先の確保 6. 入所施設の確保 7. 経済的な負担 8. 訪問対応可能な医療機関の確保 9. その他() 10. 困ったことはない				
	問 9_Q6	今後増やしてもらいたいと思う福祉サービス(介護保険サービス以外)はどれですか。下の中から選びください。(あてはまるものすべてに○)	1. ちょっとした家事や買い物の援助 2. 介護に関する知識と技術、介護サービスの利用方法などを内容とする家族介護講座の開催 3. 在宅介護をしている家族が、一日介護を休めるようなサービス 4. 家族介護者同士が交流できる家族会等の組織化 5. サロンなどの交流会、健康づくり教室(体操など)等、地域の通いの場への支援 6. 病院内の介助 7. わからない 8. その他() 9. 特にない				
自由意見		これからの高齢者施策や介護のあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。	(自由記述)				

③在宅介護実態調査

※必須項目：○ 、オプション項目：オ

設問文			選択肢	厚労省	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
A票 調査対象者ご本人について						
A_Q1	現在、この調査票に回答される方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他	○			
A_Q2	世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 単身世帯 2. 配偶者・パートナーのみ世帯 3. その他	○			1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他
A_Q3	ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 男性 2. 女性 3. その他	○			1. 男性 2. 女性
A_Q4	ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 65 歳未満 2. 65～69 歳 3. 70～74 歳 4. 75～79 歳 5. 80～84 歳 6. 85～89 歳 7. 90 歳以上	○			
A_Q5	ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない	○			
A_Q6	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	○			
A_Q7	ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)	1. 脳血管疾患(脳卒中) 2. 心疾患(心臓病) 3. 悪性新生物(がん) 4. 呼吸器疾患 5. 腎疾患(透析) 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) 7. 膠原病(関節リウマチ含む) 8. 変形性関節疾患 9. 認知症 10. パーキンソン病 11. 難病(パーキンソン病を除く) 12. 糖尿病 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) 14. その他 15. なし 16. わからない	オ			
A_Q8	現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)	1. 利用している(⇒ Q9へ) 2. 利用していない(⇒ Q10へ)	○			
A_Q9	Q8で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回」または「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに○) (※回答例)●●●サービス → (週2回程度の)「2回」に○	-	-			
①	①訪問介護(ホームヘルプサービス)	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
②	②訪問入浴介護	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
③	③訪問看護	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
④	④訪問リハビリテーション	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
⑤	⑤通所介護(デイサービス)(地域密着型通所介護を含む)	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
⑥	⑥通所リハビリテーション(デイケア)	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
⑦	⑦夜間対応型訪問介護(※訪問のあった回数を回答)	0回 1回 2回 3回 4回 5回以上	○			
⑧	⑧定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない 2. 利用した	○			
⑨	⑨小規模多機能型居宅看護	1. 利用していない 2. 利用した	○			
⑩	⑩看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない 2. 利用した	○			
⑪	⑪ショートステイ	0回 1～7日 8～14日 15～21日 22日以上	○			
⑫	⑫居宅療養管理指導	0回 1回 2回 3回 4回	○			

③在宅介護実態調査

※必須項目:○ 、オプション項目:オ

設問文			選択肢	厚労省	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	A_Q10	Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を支払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 9. その他()	オ		
	A_Q11	. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他() 11. 利用していない ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。	オ		
	A_Q12	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他() 11. 特になし ※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。	オ		
	A_Q13	ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)	1. 利用している 2. 利用していない ※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。	オ		
	A_Q14	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つ)	1. ない(⇒ 10ページの自由回答へ。B票は回答不要です) 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある	○		

③在宅介護実態調査

※必須項目：○ 、オプション項目：オ

設問文			選択肢	厚労省	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
B票 主な介護者の方について						
	B_Q1	ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年 の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は 問いません)。(あてはまるものすべてに○)	1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。	○		
	B_Q2	主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)	1. 配偶者・ パートナー 2. 子 3. 子の配偶者・ パートナー 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他()	オ		1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他()
	B_Q3	主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 男性 2. 女性 3. その他	オ		1. 男性 2. 女性
	B_Q4	主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない	○		
	B_Q5	Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)	【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) 【生活援助】 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 【その他】 15. その他() 16. わからない	オ		
	B_Q6	Q6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)	【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) 【生活援助】 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 【その他】 15. その他() 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないとわからない	○		
	B_Q7	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)	1. フルタイムで働いている(Q8, 9, 10 にお進みください) 2. パートタイムで働いている(Q8, 9, 10 にお進みください) 3. 働いていない(Q11 にお進みください) 4. 主な介護者に確認しないと、わからない(Q11 にお進みください) ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。	○		
	B_Q8	Q7で「1. 」 「2. 」と回答した方(働いている方)にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)	1. 特に行っていない 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない	○		
	B_Q9	Q7で「1. 」 「2. 」と回答した方(働いている方)にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思 いますか。(○は3つまで)	1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他() 10. 特にな 11. 主な介護者に確認しないと、わからない	オ		

③在宅介護実態調査

※必須項目：○ 、オプション項目：オ

設問文			選択肢	厚労省	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	B_Q10	Q7で「1. 」「2. 」と回答した方(働いている方)にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)	1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない	○		
	B_Q11	主な介護者の方の体調は、介護を始める前と比べて変わりましたか。(○は1つ)	1. 健康を維持している 2. 少し健康でなくなった 3. 健康でなくなった			
	B_Q12	Q11 で「2. 少し健康でなくなった」、「3. 健康でなくなった」と回答した方にお伺いします。具体的にどのような症状がありますか。【例】(眠れない、憂鬱な気分、腰痛、肩がこる等)	(自由記入)			
	B_Q13	主な介護者の方は、現在何人のケア(介護・育児等)を行っていますか。(○は1つ)	1. 1人 2. 2人(⇒ Q14 へ) 3. 3人(⇒ Q14 へ) 4. 4人以上(⇒ Q14 へ)			
	B_Q14	Q13 で「2. 」「3. 」「4. 」と答えた方にお伺いします。主な介護者の方はどのケアを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)	1. 介護 2. 育児 3. 障害者(児)のケア 4. その他			
	B_Q15	介護者ご自身が受けたい支援はありますか。	1. 介護者が気軽に休息がとれるサービス(一時入所など) 2. 介護者が旅行などの休養がとれるサービス(一定期間の入所など) 3. 介護者の身体的負担(腰痛や肩こり等)を軽減するサービス(マッサージ等) 4. 介護の悩みを個別に相談できるサービス(相談会など) 5. 介護の悩みを個別に相談できるサービス(電話や自宅等への訪問) 6. 介護者同士で話ができる機会の提供 7. 介護の技術が学べる研修・講座 8. 介護に関する定期的な情報提供 9. その他() 10. 特にない			
自由意見		これからの高齢者施策や介護のあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。	(自由記述)			

④55歳以上64歳以下調査

設問文			選択肢	9期計画	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問1. 仕事に対する考え方について						
問1_Q1	あなたは現在、収入を伴う仕事(パート・アルバイト、家業の手伝い等を含む。)をしていますか。(○は1つ)		1. 週に 35 時間以上働いている(⇒ Q2へ) 2. 短時間(週 35 時間未満)、または不定期的に働いている(⇒ Q2へ) 3. 仕事はしていないが、探している(⇒ Q3へ) 4. 仕事をしておらず、探していない(⇒ Q3へ)			
問1_Q2	【Q1仕事の有無で「1」「2」と答えた方にうかがいます】 あなたの現在の雇用状況は、次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)		【自営の仕事】 1. 自営業主・自由業 2. 家族従業(家業などの手伝い) 【雇われている方】 3. 正規職員・正規従業員 4. パート・アルバイト・契約社員 5. 嘱託 6. 人材派遣企業の派遣社員 7. その他の雇用者 【団体等役員・その他】 8. 会社・団体等の職員 9. 家庭での内職 10. その他()			
問1_Q3	あなたは65歳以降も働きたいですか。(○は1つ)		1. 働きたい(⇒ Q4へ) 2. 働きたくない(⇒ 問2へ)			
問1_Q4	【Q3で「1. 働きたい」と回答した方にうかがいます】 あなたは何歳まで働きたいですか。(フルタイムだけではなく、1 日 2 時間や週 1 ～2 日など、短時間勤務や勤務日数が少ない仕事も含みます。)(○は 1 つ)		1. 66～70歳まで 2. 71～75歳まで 3. 76～80歳まで 4. 働けるうちは働きたい			
問1_Q5	Q5.【Q3で働きたいと回答した方にうかがいます】どのような働き方をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)		1. フルタイム勤務(週35時間以上) 2. 短時間勤務(週35時間未満、非常勤・嘱託・パート・アルバイト等) 3. 会社経営、自営業を継続 4. 起業、独立開業 5. 自由業(文筆業等) 6. シルバー人材センター 7. その他()			
問1_Q6	【Q3で「1. 働きたい」と回答した方にうかがいます】働きたいのは、どのような理由からですか。(○は 3 つまで)		1. 生活費を得るため 2. 借金・ローンの返済 3. 小遣いを得るため 4. 将来への蓄え(預貯金)のため 5. 健康のため 6. いきがいを得るため 7. 社会貢献・社会とのつながり 8. 時間に余裕があるため 9. 家族・知人などの勧め 10. 持っている技術や資格を活かすため 11. 何もしないでいると退屈なため 12. その他()			
問1_Q7	【Q3で「1. 働きたい」と回答した方にうかがいます】月にどのくらいの報酬がほしいですか。(○は1つ)		1. 1万円未満 2. 1万円以上3万円未満 3. 3万円以上5万円未満 4. 5万円以上10万円未満 5. 10万円以上20万円未満 6. 20万円以上30万円未満 7. 30万円以上 8. 交通費程度 9. わからない			
問1_Q8	【Q3で「1. 働きたい」と回答した方にうかがいます】65 歳以降も仕事を続けるうえで不安に感じていることはありますか。(○は 3 つまで)		1. 健康・体力面 2. 自分の経験や技術を活かせる仕事に就けるか 3. 希望する収入が得られるか 4. 希望する勤務時間の仕事があるか 5. 今まで働いてきた場所で引き続き雇用してもらえるか 6. 長期間雇用してもらえるか 7. 新しい職場環境に慣れることができるか 8. 通勤 9. 家事や孫の世話との両立を図れるか 10. 介護との両立を図れるか(配偶者・親などの介護) 11. 自身の通院や健康管理との両立を図れるか 12. 地域活動やボランティアとの両立を図れるか 13. 特にない			
問2. 地域とのつながり、社会参加について						
問2_Q1	現在、住んでいる地域にかかわらず、下記の活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)		1. 町内会・自治会の活動(企画・運営など主体的な活動として参加) 2. 町内会・自治会の活動(お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度) 3. ボランティア活動 4. NPO 活動 5. スポーツ関係のグループやクラブ 6. 学習・教養サークル(語学・絵画・料理等) 7. 習い事 8. 特にない(⇒ Q5へ)			
問2_Q2	【Q1 で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】上記のグループや団体の活動には、どのくらいの頻度で参加していますか。(○は 1 つ)		1. 週1回以上 2. 月1～3回 3. 月1回未満 4. この1年間は参加せず		【Q1 で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】上記のグループや団体の活動には、合計でどのくらい参加していますか。(○は 1 つ)	
問2_Q3	【Q1 で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】活動場所はどこですか。複数の活動を行っている場合は最も力を入れている活動についてお答えください。(○は 1 つ)		1. 自宅の近く(徒歩15分以内) 2. 北区内(1を除く) 3. 東京23 区内(北区外) 4. 東京都内(23区外) 5. 東京都外			

④55歳以上64歳以下調査

設問文			選択肢	9期計画	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 2_Q4	【Q1 で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】現在、参加している活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 自分がやりたいことだったから 2. 友人・知人からの誘い 3. 活動している方からの誘い 4. 家族に勧められた 5. 区報・ホームページを見た 6. 活動場所が近くにあった 7. その他()			
	問 2_Q5	【Q1 で「8. 特にない」と答えた方におうかがいします】活動に参加しない理由は何ですか。(○は 3 つまで)	1. 活動に興味がない(参加したい活動がない) 2. 仕事で時間がない・あわない 3. 家庭の事情(家事・介護など)で時間がない・あわない 4. 他にやりたいことがある 5. 何がしたいか、何をしたいかわからない 6. どのような活動が行われているか知らない 7. 参加するのが面倒 8. きっかけがない 9. 一人で参加することにためらう 10. 人と付き合うのがおっくう 11. 健康・体力に自信がない 12. 費用がかかる 13. その他()			
	問 2_Q6	日頃、身近な地域に住む方と、どの程度お付き合いをしていますか。(○は 1 つ)	1. あいさつをする程度 2. 立ち話をする程度 3. 互いに訪問し合う関係 4. ほとんど付き合いはない			
	問 2_Q7	あなたはご近所の方を信頼できますか。(○は1つ)	1. 信頼できる 2. どちらかと言えば信頼できる 3. どちらかと言えば信頼できない 4. 信頼できない			
	問 2_Q8	近所付き合いや、地域活動・余暇活動の中で、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。(ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。)(○は1つずつ)	-			
	①	①子どもや10代の若者	1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない			
	②	②20～40代くらいの人	〃			
	③	③50～60代くらいの人	〃			
	④	④70代かそれより高齢の方	〃			
	問 2_Q9	あなたは65歳以後、あなたの住んでいる地域との関わりをどの程度持ちたいですか。(○は 1 つ)	1. 主体的に関わっていききたい 2. 近所との関係性を維持する程度に関わりを持ちたい 3. 興味があるものについては関わっていききたい 4. 関わりたくない			
	問 2_Q10	あなたは、65 歳以降あなたの住んでいる地域における活動でやってみたいことはありますか。(○は 3 つまで)	1. 町内会・自治会の活動(企画・運営など主体的な活動として参加) 2. 町内会・自治会の活動(お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度) 3. ボランティア活動 4. NPO 活動 5. スポーツ関係のグループやクラブ 6. 学習・教養サークル 7. 習い事 8. シニアクラブ(老人クラブ) 9. 特にない 10. その他()			
	問 2_Q11	高齢期を元気に過ごすためには、社会とのつながりを持つことが大切と言われておりますが、地域活動等に参加するために必要だと思うことは何ですか。(○は 3 つまで)	1. 自分が興味のある活動がある 2. 時間的な拘束が少ない 3. 一緒に参加する人がいる 4. 誰かが声をかけてくれる 5. 定年を迎える前に区から案内が届く 6. 区報への掲載 7. 説明会など理解を深める機会がある 8. 活動ができる施設がある 9. 活動場所が自宅から近い 10. これまでの知識、経験、技術が生かせる 11. 費用がかからない 12. 少額でも参加したことによる対価(お金等)が得られる 13. その他()			1. 自分が興味のある活動がある 2. 時間的な拘束が少ない 3. 一緒にいく人がいる 4. 誰かが声をかけてくれる 5. 定年を迎える前に区から案内が届く 6. 区報への掲載 7. 説明会など理解を深める機会がある 8. 活動ができる施設がある 9. 活動場所が自宅から近い 10. これまでの知識、経験、技術が生かせる 11. 費用がかからない 12. 少額でも参加したことによる対価(お金等)が得られる 13. その他()
	問 2_Q12	あなたは高齢期の生活に不安を感じていることはありますか。不安を感じていることはどのようなことですか。(○は 3 つまで)	1. とくに不安を感じていることはない 2. 生活資金(給料・年金など) 3. 何をして過ごして良いかわからない 4. いきがいがない 5. 地域との交流がない 6. 自分や家族の健康 7. 自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になる 8. 介護をしてくれる人がいない 9. 気軽に相談できる人がいない 10. 地震等の災害時の備え 11. 子の生活面 12. 配偶者の介護 13. 親の介護 14. その他()			

④55歳以上64歳以下調査

設問文			選択肢	9期計画	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 2_Q13	認知症について、あなたはどのような印象を持っていますか？（○はいくつでも）	1. 何もわからなく(できなく)なっ てしまい、かわいそうだと思 う 2. 急に怒ったりするので、怖 いと感じる 3. 話すことや行動の意味がわ からず理解しにくい 4. 声かけなど、手助けしたい と思う 5. 身近を感じる 6. できれば関わりたくない 7. その他 8. 特に何も感じない			1. 何もわからなく(できなく)な ってしまい、かわいそうだと思 う 2. 急に怒ったりするので、怖 いと感じる 3. 話すことや行動の意味がわ からず理解しにくい 4. 声かけなど、手助けしたい と思う 5. 長生きすれば認知症になる 人が増えるので、最近は身近 に感じる 6. 距離をとりたい 7. その他 8. 特に何も感じない
	問 2_Q14	あなた自身が認知症になっ たら、周囲に知られてもよい と思いますか。（○は1つ）	1. 知られてもよい 2. 知られたくない 3. その他 4. わからない			
	問 2_Q15	北区認知症あんしんナビを 知っていますか	1. はい 2. いいえ			
	問 2_Q16	いきいきとした高齢期を過 ごすために、今から取り組ん でいることはありますか。（あ てはまるものすべてに○）	1. 食生活に気をつけている 2. 運動不足にならないよう 気をつけている 3. むし歯や歯周病にならない よう気をつけている 4. 定期的に健康診断を受け るなど健康状態の把握に気 をつけている 5. 適正体重の維持に気をつ けている 6. 飲酒の量や回数などに気 をつけている 7. 禁煙や節煙について気 をつけている 8. 貯蓄 9. 親族との付き合いの維持 10. 近隣の方との信頼関係 の構築 11. 地域活動等への参加 12. 趣味等いきがいを有する 活動 13. とくに取り組んでいるこ とはない 14. その他（ ）			
	問 2_Q17	終活についてどのように考 えていますか。（あてはまるもの すべてに○） ※終活とは、人生の最期を自 分らしく豊かに過ごし、後を 託す家族の負担を軽減する ための活動のことをいいます。	1 すでに準備している 2 まだ始めていないが、今 後、準備を進めたい 3 関心がある 4 不安に思っている 5 終活という言葉や活動 を知らない 6 関心がない 7 その他			1 すでに準備している 2 まだ始めていないが、今 後、準備を進めたい 3 関心がある 4 不安に思っている 5 終活に関心がない 6 その他
	問 2_Q18	終活の準備にあたって、不 安に思っていることを教え てください。（あてはまるもの すべてに○）	1 終活の始め方がわから ない 2 身近に相談したり、頼 ったりする人がいない 3 終活への十分な資力が ない 4 将来的に判断能力が低 下したとき、自分が望む 終活が適切に進められる かどうか 5 民間事業者の死後事務 サービス等の内容・金額 などが明確でない、また は理解できるような説明 がない 6 死後事務サービスを、自 分の死後に希望する通り 適正に行ってもらえるか どうか 7 どの事業者を選んだら 良いのか分からない 8 終活を準備しても、事 前に内容を伝える人がい ない 9 その他 10 特に不安はない			1 終活の始め方がわから ない 2 身近に相談したり、頼 ったりする人がいない 3 終活への十分な資力が ない 4 将来的に判断能力が低 下した場合、自身で準備 や判断ができるかどうか 5 民間事業者の死後事務 サービス等の内容・金額 などが明確でない、また は理解できるような説 明がない 6 死後事務サービスを、自 分の死後に希望する通り 適正に行ってもらえるか どうか 7 どの事業者を選んだら 良いのか分からない 8 終活を準備しても、事 前に内容を伝える人がい ない 9 その他 10 特に不安はない
問3. 高齢者あんしんセンターについて						
	問 3_Q1	あなたは高齢者あんしん センター（地域包括支援 センター）を知っています か。（あてはまるものすべ てに○）	1. 名前を聞いたことがある 2. どこにあるか知っている 3. センターの役割を知っ ている 4. 相談や連絡をしたこと がある 5. 知らない、聞いたこと がない	基本目標4		
	問 3_Q2	あなたのご家族または困 っている高齢者を見かけ た時にどこに相談します か。（○は優先度が高いもの 3 つまで）	1. 家族 2. 知人・友人 3. 区役所 4. 高齢者あんしんセン ター（地域包括支援セン ター） 5. ケアマネジャー 6. 医療機関 7. 民生委員 8. 社会福祉協議会 9. 警察 10. その他（ ）			

④55歳以上64歳以下調査

設問文			選択肢	9期計画	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問4.家族や生活状況について						
問 4_Q1	あなたの性別をお答えください。	1. 男性 2. 女性 3. その他				
問 4_Q2	あなたの年齢をお答えください。	()歳				
問 4_Q3	あなたの住まいはどちらですか。記入例を参考に、下の欄にお書きください。 【記入例】町名(王子本町)(1)丁目	町名()()丁目				
問 4_Q4	同居のご家族を教えてください(あなたからみた続柄でお答えください)。(あてはまるものすべてに○)	1. 一人暮らし(一緒に住んでいる人はいない) 2. 配偶者・ パートナー 3. 息子 4. 娘 5. 子の配偶者(婿、嫁)・ パートナー 6. あなたの父 7. あなたの母 8. 配偶者・ パートナー の父 9. 配偶者・ パートナー の母 10. 祖父 11. 祖母 12. 孫 13. 兄弟姉妹 14. その他()				1. 一人暮らし(一緒に住んでいる人はいない) 2. 配偶者 3. 息子 4. 娘 5. 子の配偶者(婿、嫁) 6. あなたの父 7. あなたの母 8. 配偶者の父 9. 配偶者の母 10. 祖父 11. 祖母 12. 孫 13. 兄弟姉妹 14. その他()
問 4_Q5	あなたの収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 本人の仕事による収入 2. 同居家族の収入 3. 年金 4. 預貯金の切り崩し 5. 利子・配当・家賃・不動産収入 6. 仕送り・援助 7. 生活保護 8. その他()				
問 4_Q6	昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入(税込)総額はどれくらいですか。(○は1つ)	1. 100万円未満 2. 100万円以上200万円未満 3. 200万円以上300万円未満 4. 300万円以上500万円未満 5. 500万円以上700万円未満 6. 700万円以上1,000万円未満 7. 1,000万円以上 8. わからない・答えたくない				
問 4_Q7	現在のあなた(あて名のご本人)の健康状態は、いかがですか。(1つに○)	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない				
自由意見	これからの健康福祉施策や地域づくりのあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。	(自由記述)				

⑤介護サービス事業者向け調査(調査票は令和7年12月1日現在でご記入ください などの注書きは必須)

	設問文	選択肢	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問1 貴事業所について				
問1_Q1	事業所番号を記入してください	10桁		
問1_Q2	貴事業所の、過去3年間の事業の採算について教えてください。(各年度、○は1つ)			
	令和4年度	1. 黒字 2. 収支均衡 3. 赤字 4. わからない 5. 該当しない		
	令和5年度	//		
	令和6年度	//		
問2 人材の確保・育成について				
問2_Q1	現在、貴事業所が求める質(資格・経験・スキル・役割遂行力、介護に対する理念等)を十分に満たす人材を確保できていますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)			
	A. 直接的にサービス提供に携わる人材	1. 確保できている 2. やや不足している 3. 不足している		
	B. マネジメント人材			
問2_Q2	貴事業所では地域人材を活用していますか。(○はいいくつでも)	1. 地域ボランティアを活用 2. 介護補助員(介護助手)を活用 3. 退職者や専門職OBを活用 4. 学生ボランティア・インターンの受入 5. その他() 6. 特に活用していない		
問2_Q3	地域との連携をより充実させるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)	1. 定期的な意見交換会・情報共有の場の設置 2. 顔の見える関係づくりの機会 3. 連携を調整するコーディネーターの配置 4. ICTの活用による情報共有 5. 地域包括支援センターの調整力強化 6. 地域住民・ボランティアへの理解促進・啓発 7. 行政による支援(補助金・人材育成等) 8. その他()		
問2_Q4	人材の確保に向けて、どのような公的支援があればよいと思いますか。(○は3つまで)	1 介護未経験者に対する資格取得のための費用助成 2 介護の仕事の魅力発信等の普及啓発 3 介護の職場体験 4 介護未経験者向けに介護に関する入門的研修の実施 5 学生の就職につながるような大学・専門学校等との連携強化 6 短時間・単発勤務(スキマバイト)の活用経費補助 7 介護助手の活用経費補助 8 処遇改善手当の充実 9 採用力向上のための講座、アドバイス 10 その他()		
問2_Q5	人材の定着に向けて、どのような公的支援があればよいと思いますか。(○は5つまで)	1. 新規就業者を対象とした介護技術等に関する合同研修 2. 新規就業者を対象としたキャリアプランに関する合同研修 3. 合同入社式の実施 4. 入職〇年目の職員交流会 5. 中堅職員を対象とした介護技術等に関する合同研修 6. 中堅職員を対象としたキャリアプランに関する合同研修 7. 永年勤続表彰 8. 管理者向け研修の充実 9. リーダー向け研修の充実 10. 事業所間交流の実施 11. ICT導入・活用の支援 12. 生産性向上支援 13. ハラスメント対策の徹底(カスハラ・パワハラ・セクハラ含む) 14. 個別の職場・事務所へのアドバイザーの派遣(職員の働き方等に関する助言等) 15. 子育て中の職員に対する処遇改善にかかる補助 16. 地域住民への共生社会の理解促進(介護人材需要の抑制につなげる) 17. その他 ()		
問3 事業所運営の状況や課題について				
問3_Q1	貴事業所の今後10年間における事業展開の意向についてお答えください。(○は1つ)	1. 現状維持 2. 拡大・新規展開したい 3. 縮小したい →Q2へ 4. 休止・廃止したい →Q2へ		

⑤介護サービス事業者向け調査(調査票は令和7年12月1日現在でご記入ください などの注書きは必須)

		設問文	選択肢	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 3_Q2	【問●で「3」「4」と答えた事業所にうかがいます】 事業展開を縮小・休止・廃止する意向である理由は何ですか。(〇はいくつでも)	1. 人材の確保が困難であるため 2. 利用者の確保が困難であるため 3. 人件費の負担が大きいため 4. 事業所の維持が困難なため 5. 他事業所との競争が激しいため 6. その他()		
	問 3_Q3	貴事業所の運営にあたり、不安なことや課題と感じていることがあれば教えてください。(〇はいくつでも)	1. 人材の確保・育成・定着 2. 事業資金の確保 3. 利用者(新規・継続)の確保 4. 苦情や事故への対応 5. 介護保険制度や介護報酬の改定 6. 利用者のニーズの多様化・複雑化への対応 7. 事業者間の競争の激化 8. 地代や燃料費等、物価の高騰への対応 9. その他() 10. 特にない		
問4 サービスの質の向上について					
	問 4_Q1	貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)	1. 第三者評価の実施 2. 専門家、コンサルタントの活用 3. ISO等品質管理に対する認証取得 4. ヒヤリハット、苦情事例等の活用・蓄積 5. 事業所や法人内部での研修・勉強会 6. 手引書の作成と見直し 7. 外部研修会への出席 8. スタッフの資格取得への支援 9. 事業者間の交流 10. 事業者連絡会への出席 11. 利用者やその家族への満足度調査の実施 12. 介護情報の公表 13. 先輩による現場への同行(OJT) 14. ICTや介護ロボットの導入 15. その他() 16. 特に行っていない		
	問 4_Q2	貴事業所の特色や強みを対外的にアピールするために、「 現在、実施していること 」があれば教えてください。(〇はいくつでも)	1. 見学会・施設見学の受け入れ 2. 介護体験や実習の受付 3. パンフレットやリーフレットの作成 4. 定期的な広報誌の作成 5. ホームページやSNSを活用した情報発信 6. 動画による広報(例:事業所紹介PR動画) 7. 地域イベントでの出展や参加 8. 区の広報誌への掲載 9. ボランティア募集・地域人材との連携 10. その他() 11. 現在、実施していることはない		
	問 4_Q3	貴事業所の特色や強みを対外的にアピールするために、「 今後、実施したいこと 」があれば教えてください。(〇はいくつでも)	1. 見学会・施設見学の受け入れ 2. 介護体験や実習の受付 3. パンフレットやリーフレットの作成 4. 定期的な広報誌の作成 5. ホームページやSNSを活用した情報発信 6. 動画による広報(例:事業所紹介PR動画) 7. 地域イベントでの出展や参加 8. 区の広報誌への掲載 9. ボランティア募集・地域人材との連携 10. その他() 11. 今後、実施したいことはない		
問5 認知症の方や家族の支援について					
	問 5_Q1	認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。(〇はいくつでも)	1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること 2. 認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること 3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えること 4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること 5. かかりつけ医やケアマネジャー(介護支援専門員)の認知症への理解と対応力が向上すること 6. 地域包括支援センターにおける認知症支援策がより充実すること 7. 認知症の人の家族支援が充実していくこと 8. その他() 9. 特にない／認知症の利用者はいない		
	問 5_Q2	若年性認知症(65歳未満で発症)の方への支援について、特に必要と思われることは何ですか。(〇はいくつでも)	1. 就労の継続・再就職支援 2. 収入や生活費の支援(手当・年金など) 3. 子育てや家庭生活との両立支援 4. 医療費・介護費負担への配慮 5. 若年性認知症に関する地域理解・啓発 6. 社会参加・余暇活動の場づくり 7. 家族(配偶者・子ども)への心理的・生活支援 8. その他() 9. 特にない		
	問 5_Q3	北区認知症あんしんなびを知っていますか	1. はい 2. いいえ		
	問 5_Q4	認知症のある方の声を取り入れて、支援に活かしている点があればお書きください。			
問6 独居高齢者について					

⑤介護サービス事業者向け調査(調査票は令和7年12月1日現在でご記入ください などの注書きは必須)

		設問文	選択肢	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 6_Q1	貴事業所でサービスを利用している「独居高齢者」について、大変だと感じることは何ですか。(○はいくつでも)	1. 緊急時(転倒・急変等)の対応 2. 安否確認を十分に行うこと 3. 食事・栄養面の管理が行き届かない 4. 服薬管理 5. 認知症によるリスク(徘徊・火の不始末など) 6. 家事・生活全般(掃除・ゴミ出しなど) 7. 金銭管理・生活費のやりくり 8. 医療機関や行政との連絡・調整 9. 家族・親族等の支援が得られにくい 10. 社会的孤立(会話・交流の不足) 11. 終末期ケアや看取りに対する準備 12. 相続や遺品整理など、死後の手続きに対するサポート 13. 葬儀や墓の準備に関する負担や支援 14. その他() 15. 特にない		1. 緊急時(転倒・急変等)の対応が難しい 2. 安否確認を十分に行うことが難しい 3. 食事・栄養面の管理が行き届かない 4. 服薬管理が難しい 5. 認知症によるリスク(徘徊・火の不始末など) 6. 家事・生活全般(掃除・ゴミ出しなど)が困難 7. 金銭管理・生活費のやりくりが難しい 8. 医療機関や行政との連絡・調整が難しい 9. 家族・親族等の支援が得られにくい 10. 社会的孤立(会話・交流の不足) 11. 終末期ケアや看取りに対する準備が難しい 12. 相続や遺品整理など、死後の手続きに対するサポートが困難 13. 葬儀や墓の準備に関する負担や支援が難しい 14. その他() 15. 該当しない
	問 6_Q2	独居高齢者への支援を充実させるために、どのような支援・仕組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)	1. ICTや見守り機器導入の支援 2. 緊急時の駆け付け体制の強化 3. 買い物・配食・生活支援サービスの充実 4. 訪問回数やサービス提供時間を増やすための制度的支援 5. 地域住民・ボランティアとの協働体制の強化 6. 医療機関との連携強化 7. 成年後見制度や生活支援体制の強化 8. 終末期ケアや看取り体制の充実 9. 独居高齢者の「終活」(生前整理、エンディングノート作成など)を支援する体制の整備 10. 遺品整理や相続手続きの支援を含めた体制の構築 11. その他()		
問7 看取り・虐待防止・ハラスメントについて					
	問 7_Q1	看取りについて、貴事業所が最も重視していることは何ですか。(○は1つ)	1. 看取りは、自宅では困難と考えている 2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである 3. 可能な限り自宅で看取りまで行うべきである 4. 自宅か医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい 5. 自宅か医療機関か、家族の意向を尊重した看取りが望ましい 6. その他()		
	問 7_Q2	24時間・365日の看取りケアを実施するために、現状で不足していると感じることは何ですか。(○はいくつでも)	1. 人材の確保(介護職員・看護職員など) 2. 人材の教育・研修(看取りケア、医療対応など) 3. 夜間・休日の勤務体制の整備 4. 訪問体制の充実(移動手段・訪問回数の確保など) 5. 医療機関との連携(医師、訪問看護、救急対応) 6. 介護報酬・処遇改善制度の充実 7. ICT・見守り機器の活用 8. 施設・設備(病室、機器、居室など) 9. ACPの支援者側への浸透 10. ACPの家族・本人側への浸透 11. その他() 12. 特にない		
	問 7_Q3	職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(○はいくつでも)	1. 研修などへの参加を促すとともに、研修参加者の情報を全職員で共有している 2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している 3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動を行っている 4. 他施設での事例等を職員間で分析し、要因について共有する研修や検討会を行っている 5. 職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立てている 6. 気軽に相談ができる窓口を整えている 7. その他()		
	問 7_Q4	介護への理解を促進するために、効果的だと思う取組は何ですか。(○はいくつでも)	1. 地域住民向けの講座やイベントの開催 2. 学校や職場での介護教育・体験学習 3. 家族向けの相談・研修・情報提供 4. メディア(新聞・テレビ・SNS等)による情報発信 5. 行政や地域団体との連携による広報・啓発 6. 事業所の見学会・体験会の実施 7. 介護職員自身の発信や体験談の共有 8. その他()		
問8 連携状況について					
	問 8_Q1	医療機関との連携について、貴事業所が取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)	1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている 2. 訪問診療や往診をしてくれる医師・医療機関がある 3. 急変時等に受入を依頼できる病院を確保している 4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている 5. 自らもしくは法人として医療機関を経営している 6. その他() 7. 連携していない		

⑤介護サービス事業者向け調査(調査票は令和7年12月1日現在でご記入ください などの注書きは必須)

		設問文	選択肢	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 8_Q2	【Q2で「7」と答えた事業所にうかがいます】 医療機関と連携していない理由は何ですか。(○はいくつでも)	1. 利用者ごとに主治医が異なる 2. 連携の方法がわからない 3. ケアマネジャー等と連携しているため、医療機関との連絡は不要 4. 提供するサービスにおいて連携が不要であるため 5. 相談できる医療職がない 6. 今後、連携を予定している 7. 開設して間もない 8. その他()		
	問 8_Q3	どのような支援や手段があれば医療機関との連携が充実できると思いますか。(○は3つまで)	1. ICTの活用 2. 連絡手段の多様化(SNSなど) 3. 医療機関への高齢者施設の理解促進 4. 施設と医療機関の方針の共有 5. 医療機関と高齢者施設の協力体制の整備 6. 医療機関との定期的な意見交換会 7. 緊急時の連携体制の明確化 8. 医師や看護師の施設訪問の充実 9. その他()		
	問 8_Q4	地域のどのような組織と連携をとっていますか。(○はいくつでも)	1. 自治会・町内会 2. ボランティアグループ 3. 家族会 4. 学校関係 5. 企業 6. 民生委員・児童委員 7. その他() 8. 連携していない		
	問 8_Q5	【Q4で「1」～「7」と答えた事業所にうかがいます】 地域とどのような内容で連携していますか。(○はいくつでも)	1. 地域の行事への参加 2. 講師依頼 3. 事業所のイベントに招待 4. 地元商店街や企業からの優先的な購入 5. 防災訓練 6. その他()		
問9 区に対する要望について					
	問 9_Q1	事業を運営する上で、どのような支援が必要ですか。(○は5つまで)	1. 事業所に関する広報やPRに対する支援 2. DX化促進のための支援 3. 不正防止策の徹底と強化 4. 介護事業者連絡会など事業者間の連携強化のための支援 6. 人材確保のための支援 7. 人材定着のための支援 8. 外国人職員の採用や受け入れに必要な環境整備のための支援 8. 介護支援専門員やヘルパー等サービス提供者養成の支援 9.サービス利用者や家族の介護保険制度(サービス)の理解向上に向けた取組 10. 災害等発生時の訓練実施等の支援 11. 災害や感染症発生に備えた支援 12. その他() 13. 特にない	事業を運営する上で、 区からの支援が必要だと 感じることはあります か。(○は5つまで)	
問10 居所変更実態調査(住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、グループホーム、(地域密着型)特定施設、介護老人保健施設、介護医療院、(地域密着型)特別養護老人ホームの方がお答えください)					
	問 10_Q1	該当するサービス種別を、ご回答ください。(○は1つ)	1. 住宅型有料老人ホーム 2. 軽費老人ホーム(特定施設除く) 3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く) 4. グループホーム 5. 特定施設 6. 地域密着型特定施設 7. 介護老人保健施設 8. 介護医療院 9. 特別養護老人ホーム 10. 地域密着型特別養護老人ホーム		
	問 10_Q2	貴施設等の概要について、以下にご記入ください。 ※「②定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。 ※④と⑤は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「－」を記載してください。 ※⑤は特養・地域密着型特養は回答不要です。	①施設等の名称 ②定員数など(人/戸/室) ③入所・入居者数(人) ④(貴施設等の)待機者数(人) ⑤特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)(人)		
	問 10_Q3	現在の入所・入居者の要介護度別の人数について、ご記入ください。(数値を記入)	自立 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 申請中・不明 合計		

【アンケート調査比較表】北区地域包括ケア推進計画のためのアンケート

⑤介護サービス事業者向け調査(調査票は令和7年12月1日現在でご記入ください などの注書きは必須)

	設問文	選択肢	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
	問 10_Q4	貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。(○はいくつでも) ※1人でも受け入れが可能であれば、○とご記入ください。	1. 点滴の管理 2. 中心静脈栄養 3. 透析 4. ストーマの処置 5. 酸素療法 6. レスピレーター 7. 気管切開の処置 8. 疼痛の看護 9. 経管栄養 10. モニター測定 11. 褥瘡の処置 12. カテーテル 13. 喀痰吸引 14. インスリン注射 15. 上記に対応可能な医療処置はない	
	問 10_Q5	現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。 (数値を記入)	()人	
ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。				
	問 10_Q6	過去1年間(●年●月●日～●年●月●日)に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。(数値を記入)	新規の入所・入居者数(合計◆)	
	問 10_Q7	Q6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。(各項目、区内、区外、それぞれ数値を記入) ※Q6の「合計◆」と、Q7の「全項目の合計◆」が一致することをご確認ください。 ※一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「⑫病院」を選択してください。 ※「①自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。	①自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む) ②住宅型有料老人ホーム ③軽費老人ホーム(特定施設除く) ④サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く) ⑤グループホーム ⑥特定施設 ⑦地域密着型特定施設 ⑧介護老人保健施設 ⑨介護医療院 ⑩特別養護老人ホーム ⑪地域密着型特別養護老人ホーム ⑫病院・診療所(一時的な入院を除く) ⑬その他 ⑭入居・入所する前の居場所を把握していない 全項目(区内、区外)の合計◆	
ここからは、過去1年間の新規の退去者についてお伺いします。				
	問 10_Q8	過去1年間(●年●月●日～●年●月●日)に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。(数値を記入) ※一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方(貴施設等との契約が継続している方)は含めないでください。 ※「死亡」には、「貴施設等で亡くなった方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含まれます。	退去者数(死亡を含む)(合計■)	
	問 10_Q9	Q8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。(数値を記入) ※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご記入ください。 ※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②貴施設等での死亡」、搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。 ※「合計■」と、Q8の「退去者数(合計■)」が一致することをご確認ください。	①退去者 自立 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 申請中・不明 ②貴施設等での死亡※搬送先での死亡を含む 合計■ ※①②の合計	
	問 10_Q10	Q8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。(各項目、区内、区外、それぞれ数値を記入) ※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。 ※搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。 ※「合計■」と、Q8の「退去者数(合計■)」、Q9の「合計■」が一致することをご確認ください。	①自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む) ②住宅型有料老人ホーム ③軽費老人ホーム(特定施設除く) ④サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く) ⑤グループホーム ⑥特定施設 ⑦地域密着型特定施設 ⑧介護老人保健施設 ⑨介護医療院 ⑩病院・診療所(上記⑨を除く) ※一時的な入院は含みません。 ⑪特別養護老人ホーム ⑫地域密着型特別養護老人ホーム ⑬その他 ⑭行先を把握していない ⑮死亡(※搬送先での死亡を含む) 全項目(区内、区外)の合計■	
	問 10_Q11	貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。最も多いものを3つまで選んでください。(○は3つまで) ※死亡した方は除き、退去者についてお答えください。	1. 必要な生活支援が発生・増大したから 2. 必要な身体介護が発生・増大したから 3. 認知症の症状が悪化したから 4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから 5. 上記選択肢「1」～「4」以外の状態像が悪化したから 6. 入所・入居者の状態等が改善したから 7. 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから 8. 費用負担が重くなったから 9. 本人が希望したから 10. その他〔具体的に： 〕	

⑤介護サービス事業者向け調査(調査票は令和7年12月1日現在でご記入ください などの注書きは必須)

		設問文	選択肢	(修正前)設問文	(修正前)選択肢
問10_Q1_2	問	貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。	自由回答		
問11 在宅生活改善調査(居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所の方がお答えください)					
問11_Q1	問	事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。(数値を記入)	①所属するケアマネジャーの人数(人) ②「自宅等(③)を除く」にお住まいの利用者数(人) ③「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数(人)		
ここからは、貴事業所において、過去1年の間(●●年●月●日～●●年●月●日)に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」について伺います。					
問11_Q2	問	貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。(数値を記入) ※入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。 ※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。	①退去者 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 申請中・不明 ②自宅等での死亡 合計★ ※①②の合計		
問11_Q3	問	貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。(各項目、区内、区外、それぞれ数値を記入) ※入院した後に自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。 ※搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。 ※問●(本設問)の合計(★)と、問2(1つ前の設問)の合計(★)が一致することをご確認ください。	①兄弟・子ども・親戚等の家 ②住宅型有料老人ホーム ③軽費老人ホーム(特定施設除く) ④サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く) ⑤グループホーム ⑥特定施設 ⑦地域密着型特定施設 ⑧介護老人保健施設 ⑨介護医療院 ⑩特別養護老人ホーム ⑪地域密着型特別養護老人ホーム ⑫病院・診療所※一時的な入院を除く ⑬その他 ⑭行先を把握していない ⑮自宅等での死亡(※搬送先での死亡を含む) 全項目(区内、区外)の合計★		
問11_Q4	問	貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。	自由回答		

意見まとめ

調査	問	項目	Q	肢	再掲	設問内容を修正・変更すべき内容	修正案
1	1	ご家族や生活状況について	3	2, 3	あり	「夫婦 2 人暮らし」という表現を変更したほうが良い。	「夫婦 2 人暮らし」は「配偶者・パートナーと同居」に修正しました。 なお、必須項目ですが修正可能な範疇と判断しました。
1	2	からだを動かすことについて	4		あり	週に1回以上外出しているかを聞くのではなく、週の外出頻度を聞くものではないか。	「どの程度」と聞く形にしました。 なお、必須項目ですが修正可能な範疇と判断しました。
1	2	からだを動かすことについて	5			昨年との比較も必要だと思うが、コロナ前後での変化を聞いてはどうか。	必須項目で経年比較が必要なので変更はしないこととします。
1	4	物忘れ・認知症について	3			設問がわかりづらい。	「あなた自身の認知症の症状があるか」という表現に変更しました。
1	4	物忘れ・認知症について	4	5		「長生きすれば認知症になる人が増えるので」の部分は不要では。「身近に感じる」でいいのでは。	「身近に感じる」に修正しました。
1	4	物忘れ・認知症について	4	6		「距離をとりたい」よりもう少し強い拒否反応もあるのではないか。	「距離をとりたい」は「できれば関わりたくない」としました。
1	5	毎日の生活について	7	3		「両方」というのは、携帯電話とスマホを指していると思うが、直前の「2.スマホまたはタブレット」という選択肢と混同しないか。	「携帯電話とスマートフォン両方を使っている」としました。
1	5	毎日の生活について	12			社協の友愛ホームサービス利用者はどこを選択すべきか。4有償・無償のボラでは選 びにくいと思われる。	選択肢 6 として、「6. 社会福祉協議会の友愛ホームサービス」を追加し、以下選 択肢の番号を繰り下げました。
1	5	毎日の生活について	13			この回答について、○が多いものがその地域の地域課題とするという理解でよい か。	主に、総合事業の展開にあたり、地域ごとのニーズ把握に活用したいと考えていま す。
1	9	健康について	6	4		Q7のタバコと同様、「やめた」という選択肢があるとよい。	「以前は飲んでいたが、今はやめた」を追加しました。
1	9	健康について	7	4		-	上記Q6に合わせました。 なお、必須項目ですが、経年の集計が可能な変更と判断しました。
1	9	健康について	13		あり	「聞いたことがない」という選択肢を入れてはどうか。	「終活という言葉や活動を知らない」を追加しました。

意見まとめ

調査	問	項目	Q	肢	再掲	設問内容を修正・変更すべき内容	修正案
1	9	健康について	14	4	あり	表現がわかりづらい	「判断能力が低下したとき、自分が望む終活が適切に進められるかどうか」に修正しました。
1	9	健康について	14	5.6	あり	同様の趣旨ではないか。統合してはどうか。	5は民間事業者が実施しているサービス内容等を理解しているか、6は自身の死後に適正なサービスが実行されるか、をそれぞれ分けて把握したいと考えているため、変更しないこととしました。
1	9	健康について	14	3	あり	資力というより時間がないという人が多いのではないか。	終活の準備に際しての不安という意味では、資力の不足を選択肢にすることとしました。
3						調査3_B票については、回答者は介護者に設定されているのか。 Q15介護者自身が受けたい支援は介護者が回答する方がニーズを把握できそうに思える。	調査3のB票は介護者が回答することを想定しているものです。
3	A	調査対象者ご本人について	1	2		「夫婦」「男性・女性」という表現について。	「夫婦」や「配偶者」は、「配偶者・パートナー」としました。 「男性・女性」のみとなっていた箇所は、「その他」を追加しました。
3	A	調査対象者ご本人について	3	3		〃	〃
3	B	主な介護者の方について	2	1.3		〃	〃
3	B	主な介護者の方について	3	3		〃	〃
5	1	貴事業所について	2			採算について、もう少し深く聞く必要はないか。	事業所全体の採算状況の分布を把握することで、これを基に大まかな現状を分析することができると考えています。
5	9	区に対する要望について	1			支援が必要と覚えることがあるかどうかではなく、何が必要かを聞いている設問ではないか。	「事業を運営する上で、どのような支援が必要ですか。」としました。

料金別納
郵便

アンケート調査票 在中

皆様のご意見などを、お聞かせください。



北区

北区地域包括ケア推進計画のためのアンケート調査

北区役所
高齢福祉課・長寿支援課・介護保険課
〒114-8508 東京都北区王子本町 1-15-22

回答受付

.....
～ 12/24 (水)

【お問合せ先】北区地域包括ケア アンケート調査コールセンター
☎：0800-222-8744 (平日9:00～17:00 受付)
(株式会社サーベイリサーチセンターが北区から受託しています。)

北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

＜要介護認定を受けていない方の調査票＞

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。北区では、「みんなで支え安心してらせる地域づくり」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取組みに力を入れています。

このアンケート調査において高齢者の方等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和9年度からの高齢者保健福祉計画・認知症施策推進計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月 東京都北区 福祉部

ご記入にあたって

- ①この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。
- ②この調査票は、令和7年12月1日現在の状況でお答えください。
- ③封筒のあて名ご本人が回答できない場合は、ご家族などが代わりにお答えください。
該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただくなくても差し支えありません。
- ④ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤この調査票や返信用封筒には名前や住所、電話番号は書かないでください。また、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥記入した調査票は、2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

令和7年12月24日（水）までに、郵便ポストにご投函ください。

【調査実施主体】

北区 福祉部 高齢福祉課・長寿支援課・介護保険課

【お問合せ先】北区地域包括ケア アンケート調査コールセンター

電 話：0800-222-8744（平日9:00～17:00 受付）

（株式会社サーベイリサーチセンターが北区から受託しています。）

北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

＜要介護（要支援）認定を受けている方の調査票＞

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。北区では、「みんなで支え安心してらせる地域づくり」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがづくり・社会参加につながる取組みに力を入れています。

このアンケート調査において高齢者等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和9年度からの高齢者保健福祉計画・認知症施策推進計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月 東京都北区 福祉部

ご記入にあたって

- ①この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。
- ②この調査票は、令和7年12月1日現在の状況でお答えください。
- ③封筒のあて名ご本人が回答できない場合は、ご家族などが代わりにお答えください。
該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただくなくても差し支えありません。
- ④ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤この調査票や返信用封筒には名前や住所、電話番号は書かないでください。また、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥記入した調査票は、2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

令和7年12月24日（水）までに、郵便ポストにご投函ください。

【調査実施主体】

北区 福祉部 高齢福祉課・長寿支援課・介護保険課

【お問合せ先】北区地域包括ケア アンケート調査コールセンター

電 話：0800-222-8744（平日9:00～17:00 受付）

（株式会社サーベイリサーチセンターが北区から受託しています。）

北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

＜在宅介護実態調査票＞

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
北区では、「みんなで支え安心してくらす地域づくり」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取組みに力を入れています。

このアンケート調査において高齢者等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和9年度からの高齢者保健福祉計画・認知症施策推進計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月 東京都北区 福祉部

ご記入にあたって

- ①この調査票で「ご本人」とあるのは、あて名にお名前のある方のことです。
- ②この調査票は、令和7年12月1日現在の状況でお答えください。
- ③封筒のあて名ご本人が回答できない場合は、ご家族や介護者などがお答えください。
該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただくなくても差し支えありません。
- ④ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤返信用封筒には、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥記入した調査票は、2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

令和7年12月24日（水）までに、郵便ポストにご投函ください。

【調査実施主体】

北区 福祉部 高齢福祉課・長寿支援課・介護保険課

【お問合せ先】北区地域包括ケア アンケート調査コールセンター

電 話：0800-222-8744（平日9:00～17:00 受付）

（株式会社サーベイリサーチセンターが北区から受託しています。）

■ 要介護認定データの活用に関するお願い ■

- 今回の調査では、より充実した分析を行うために、区が保有している要介護認定データを活用したいと考えております。あなたの要介護認定データを調査に活用することにご同意いただける場合は、下記の同意書をよくお読みいただいた上で、ご署名をお願いいたします。ご署名いただいても、本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。
- ご同意いただけない場合であっても、設問にお答えいただければ、要介護認定データは使用せずにご回答いただいた内容のみを統計的に処理した上で分析に活用いたします。このため、ご署名いただけない場合でも、次ページ以降の設問にはお答えくださるようお願いいたします。
- 調査の趣旨をご理解いただいた上で、ご協力をお願いいたします。

「在宅介護実態調査」における
要介護認定データの活用に係る同意書

私は、「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）の活用について、以下の事項を確認のうえ、同意します。

記

■ 要介護認定データの利用目的について

要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、北区における高齢者等支援施策の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。

以 上

東京都北区長 殿

令和 年 月 日

ご署名（ご本人）

北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

＜55歳以上64歳以下の方の調査票＞

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
北区では、「みんなで支え安心してくらせる地域づくり」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取組みに力を入れています。

このアンケート調査において今後高齢期を迎える方等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和9年度からの高齢者保健福祉計画・認知症施策推進計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月 東京都北区 福祉部

ご記入にあたって

- ①この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。
- ②この調査票は、令和7年12月1日現在の状況でお答えください。
- ③該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただくなくても差し支えありません。
- ④ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤この調査票や返信用封筒には名前や住所、電話番号は書かないでください。また、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥本調査はインターネットと紙の調査票のいずれかの方法で回答が可能です。

いずれかの方法で 令和7年12月24日（水）までにご回答ください。

- ⑦紙で回答いただく場合、調査票を2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずにポスト投函してください。

【調査実施主体】

北区 福祉部 高齢福祉課・長寿支援課・介護保険課

【お問合せ先】北区地域包括ケア アンケート調査コールセンター

電 話：0800-222-8744（平日9:00～17:00 受付）

（株式会社サーベイリサーチセンターが北区から受託しています。）

北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

＜ 介護サービス事業所 調査票 ＞

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
北区では、「みんなで支え安心してくらせる地域づくり」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取組みに力を入れています。

このアンケート調査によって、区内で介護保険サービスを提供されているすべての事業所の、事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直しなどに関するご意見・ご要望等をお聞きし、令和9年度からの高齢者保健福祉計画・認知症施策推進計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月 東京都北区 福祉部

ご記入にあたって

- ①調査票は、送付した封筒の宛名に記載されているサービス種別ごとに発送しています。
複数の調査票をお届けした事業所においては、お手数ですが、サービス種別ごとに調査票を作成してください。
- ②この調査票は、**令和7年12月1日現在**の状況でお答えください。
- ③ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ④本調査はインターネットと紙の調査票のいずれかの方法で回答が可能です。
いずれかの方法で **令和7年12月24日（水）まで**にご回答ください。
- ⑤紙で回答いただく場合、調査票を2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずにポスト投函してください。

【調査実施主体】

北区 福祉部 高齢福祉課・長寿支援課・介護保険課

【お問合せ先】北区地域包括ケア アンケート調査コールセンター

電 話：0800-222-8744（平日9:00～17:00 受付）

（株式会社サーベイリサーチセンターが北区から受託しています。）

本調査は、インターネットでも回答できます！

◀調査④⑤▶



インターネットによる回答方法



この調査は、紙の調査票のほか、パソコン、タブレット、スマートフォンから回答することができます。回答は下記のように行ってください。

なお、回答は調査票（紙）かインターネットのどちらかをお願いします。重複しての回答がないようご注意ください。

1 回答用ページへアクセス

URL : <https://en.surece.co.jp/> ●●

*スマートフォンからは、右の二次元コードからでもアクセスできます。

二次元
コード

2 回答フォームにアクセス

回答用ページでインターネット回答用「ID」と「パスワード」を入力し、「次へ」ボタンを押します。「ID」と「パスワード」は下記に記載しています。

回答用ページトップ画面

ID、パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

あなたのインターネット回答用「ID」・「パスワード」

ID:

パスワード:

※IDとパスワードは無作為に配布しており、個人の特定はできません

3 インターネット回答を開始

質問が表示されますので、設問をよくお読みになってあてはまる選択肢にチェックを入れてください。「その他」をお選びになった場合や、自由に記述する設問は、枠内に文字を入力してください。



ご回答の際のご注意

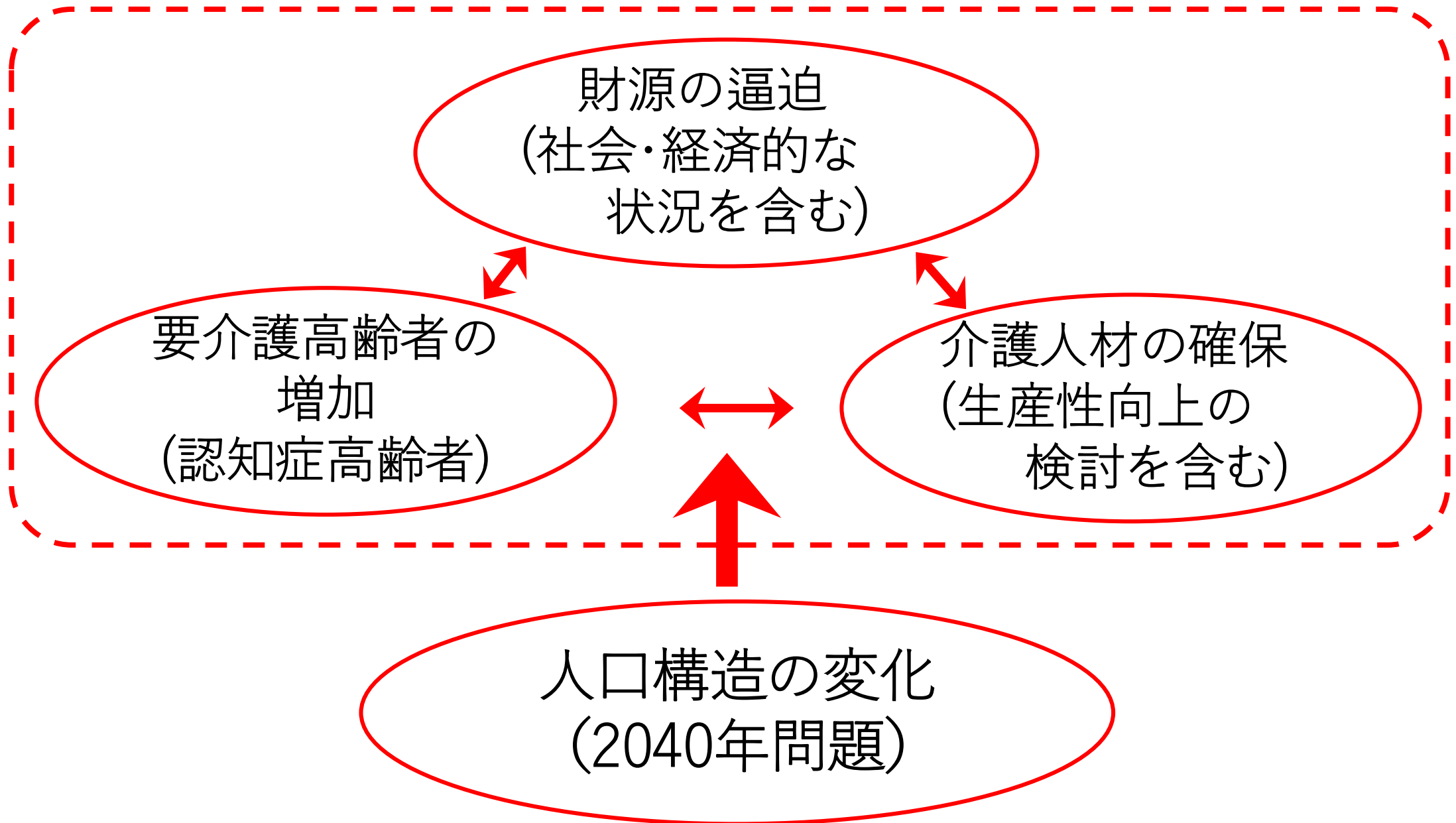
- インターネットの回答期限は、**12月24日（水）23時59分**です。
- インターネット回答は途中保存が可能です。最後に「次へ」ボタンを押したページまでの回答は保存されています。
- 回答は、各ページ 60 分以内に「次へ」ボタンを押してください。
- JavaScript および Cookie を有効にしてください。
- インターネット回答は 1 回限りです。回答を送信するとその後の修正はできません。

2027年度介護保険制度改革の動向

高 野 龍 昭

東洋大学 福祉社会デザイン学部 教授

介護保険制度の「課題」の構造



社会保障給付費の見通し（経済ベースラインケース）

（内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省：2018年5月21日）

※括弧内の指数は対2018年度比

経済財政諮問会議（2018年
5月21日開催）資料をもとに
筆者作成

	2018年度	2025年度	2040年度
介護	10.7兆円 1号保険料/月額平均=5,869円	15.3兆円 (143%) 7,200円 (123%)	25.8兆円 (241%) 9,200円 (157%)
医療①	39.2兆円	47.8兆円 (122%)	66.7兆円 (170%)
医療②		47.4兆円 (121%)	68.5兆円 (175%)
年金	56.7兆円	59.9兆円 (106%)	73.2兆円 (129%)
子ども・子育て	7.9兆円	10.0兆円 (127%)	13.1兆円 (166%)
その他	6.7兆円	7.7兆円 (115%)	9.4兆円 (140%)
合計(医療は高値で計算)	121.3兆円	140.2兆円 (116%)	190.0兆円 (157%)
GDP	564.3兆円	645.6兆円 (114%)	790.6兆円 (140%)
後期高齢者人口	17,760千人	21,800千人 (123%)	22,392千人 (126%)
高齢者人口	35,380千人	36,771千人 (104%)	39,206千人 (111%)
総人口	126,530千人	122,544千人 (97%)	110,919千人 (88%)

※後期高齢者人口・高齢者人口・総人口については、2018年度の数値は『人口推計』（総務省）の「平成30年4月1日現在（概算値）」を用い、2025年度と2040年度の数値は『日本の将来推計人口（平成29年推計）』（国立社会保障・人口問題研究所）から引用した。

介護の費用をGDP比でみると、
2018年度 = 1.89%
2025年度 = 2.37% (1.3倍)
2040年度 = 3.26% (1.7倍)

社会保障費用合計をGDP比でみると、
2018年度 = 21.5%
2025年度 = 21.7% (1.01倍)
2040年度 = 24.0% (1.12倍)

第 1 号保険料と第 2 号保険料の推移

出典：厚生労働省『社会保障審議会介護保険部会
(第116回)』（2024年12月23日開催）資料

		第 1 号保険料（65歳～）の 1 人当たり月額 （基準額の全国加重平均）	第 2 号保険料（40歳～64歳）の 1 人当たり月額 （事業主負担分、公費分を含む）	
第 1 期	平成 12 年度	2， 9 1 1 円	2， 0 7 5 円	
	平成 13 年度		2， 6 4 7 円	
	平成 14 年度		3， 0 0 8 円	
第 2 期	平成 15 年度	3， 2 9 3 円	3， 1 9 6 円	
	平成 16 年度		3， 4 7 4 円	
	平成 17 年度		3， 6 1 8 円	
第 3 期	平成 18 年度	4， 0 9 0 円	3， 5 9 5 円	
	平成 19 年度		3， 7 7 7 円	
	平成 20 年度		3， 9 4 4 円	
第 4 期	平成 21 年度	4， 1 6 0 円	4， 0 9 3 円	
	平成 22 年度		4， 2 8 9 円	
	平成 23 年度		4， 4 6 3 円	
第 5 期	平成 24 年度	4， 9 7 2 円	4， 6 2 2 円	
	平成 25 年度		4， 8 7 1 円	
	平成 26 年度		5， 1 2 5 円	
第 6 期	平成 27 年度	5， 5 1 4 円	5， 0 8 1 円	
	平成 28 年度		9 月まで	5， 1 9 2 円
			10月以降	5， 1 9 0 円
	平成 29 年度		5， 3 9 7 円	
第 7 期	平成 30 年度	5， 8 6 9 円	5， 3 5 3 円	
	令和 元 年度		5， 5 3 2 円	
	令和 2 年度		5， 6 6 9 円	
第 8 期	令和 3 年度	6， 0 1 4 円	5， 7 8 8 円	
	令和 4 年度		5， 8 2 5 円	
	令和 5 年度		6， 2 1 6 円（見込額）	
第 9 期	令和 6 年度	6， 2 2 5 円	6， 2 7 6 円（見込額）	

【第9期】
* 東京都（平均）
= 6,320円
* 北区. = 6,290円

(注)第2号保険料の1人当たり月額については、令和4年度までは各年度の確定額、令和5年度及び令和6年度については、前々年度の精算分を控除した一人当たり納付見込額の平均

要介護者等の推計（2025-2040）

2025年の数値は厚生労働省『介護保険事業状況報告（月報）』の同年4月末実績値を用い、かつ、
2040年の数値は各自治体による『第9期介護保険事業（支援）計画』における推計値を用いて、筆者が作成

	2025年	2040年	増加率
全国	7,229,535人	843万人	116.6%
神奈川県藤沢市	22,940人	32,914人	143.5%
神奈川県箱根町	806人	580人	72.0%
千葉県浦安市	5,158人	9,277人	179.9%
千葉県鋸南町	745人	609人	81.7%
東京都中央区	5,868人	8,924人	152.1%
東京都北区 <small>※第1号被保険者のみ</small>	19,281人	19,340人	100.3%
東京都稲城市	3,442人	5,493人	159.6%
東京都檜原村	167人	133人	79.6%
島根県松江市	11,700人	14,393人	123.0%
島根県津和野町	750人	649人	86.5%
秋田県秋田市	19,918人	25,909人	130.1%
秋田県上小阿仁村	194人	170人	87.6%

要介護者等の推計（2025-2040）

【東京都・「区西北部」老人福祉圏域】

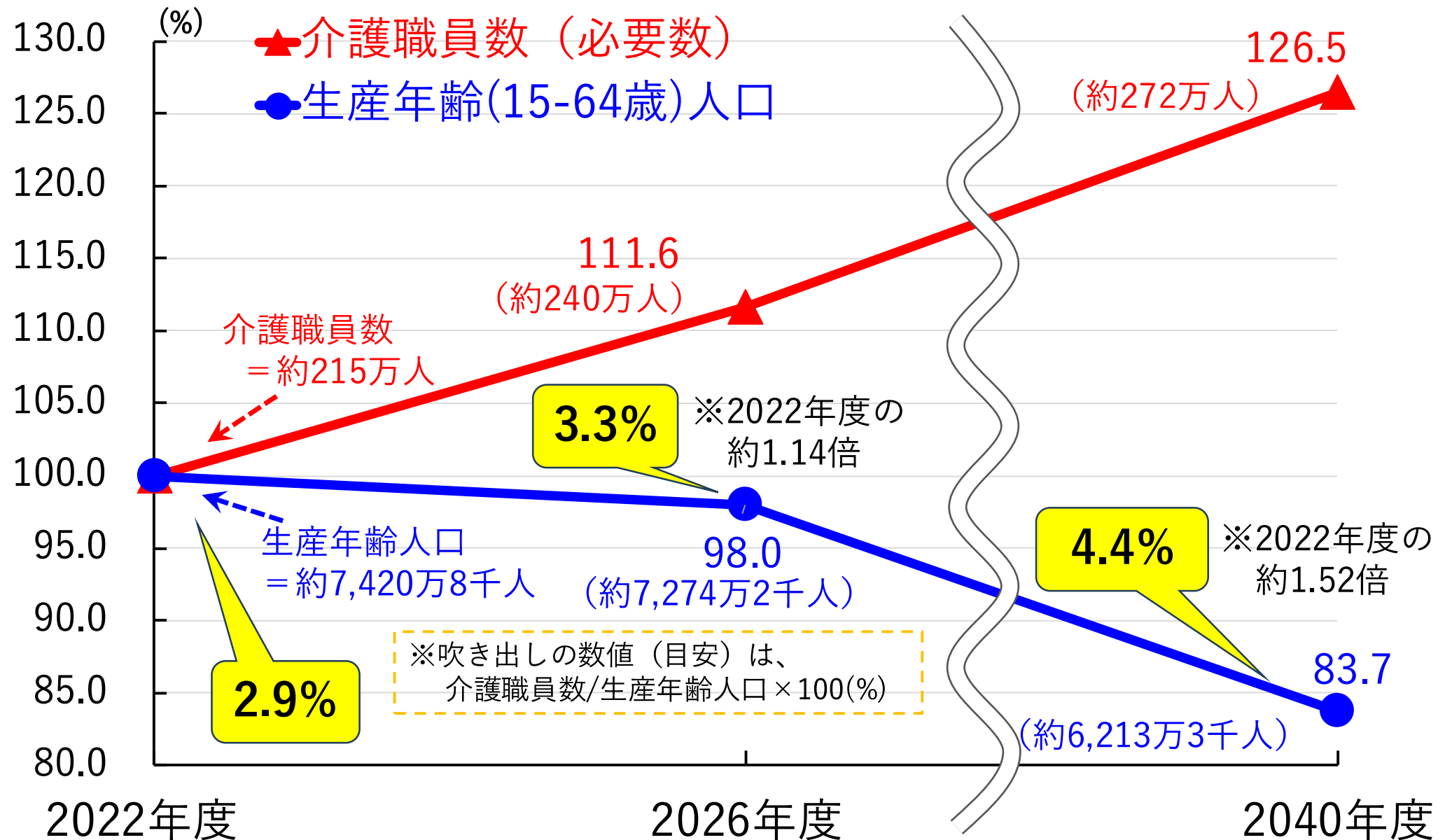
2025年の数値は厚生労働省『介護保険事業状況報告（月報）』の同年4月末実績値を用い、かつ、2040年の数値は各自治体による『第9期介護保険事業（支援）計画』における推計値を用いて、筆者が作成

	2025年	2040年	増加率
全国	7,229,535人	843万人	116.6%
豊島区	12,154人	14,325人	117.9%
北区 <small>※第1号被保険者のみ</small>	19,281人	19,340人	100.3%
板橋区	28,678人	35,610人	124.2%
練馬区	37,658人	40,460人	107.4%

参考	千代田区	2,564人	3,584人	139.8%	}
	朝霞市 <small>※第1号被保険者のみ</small>	5,387人	7,796人	144.8%	

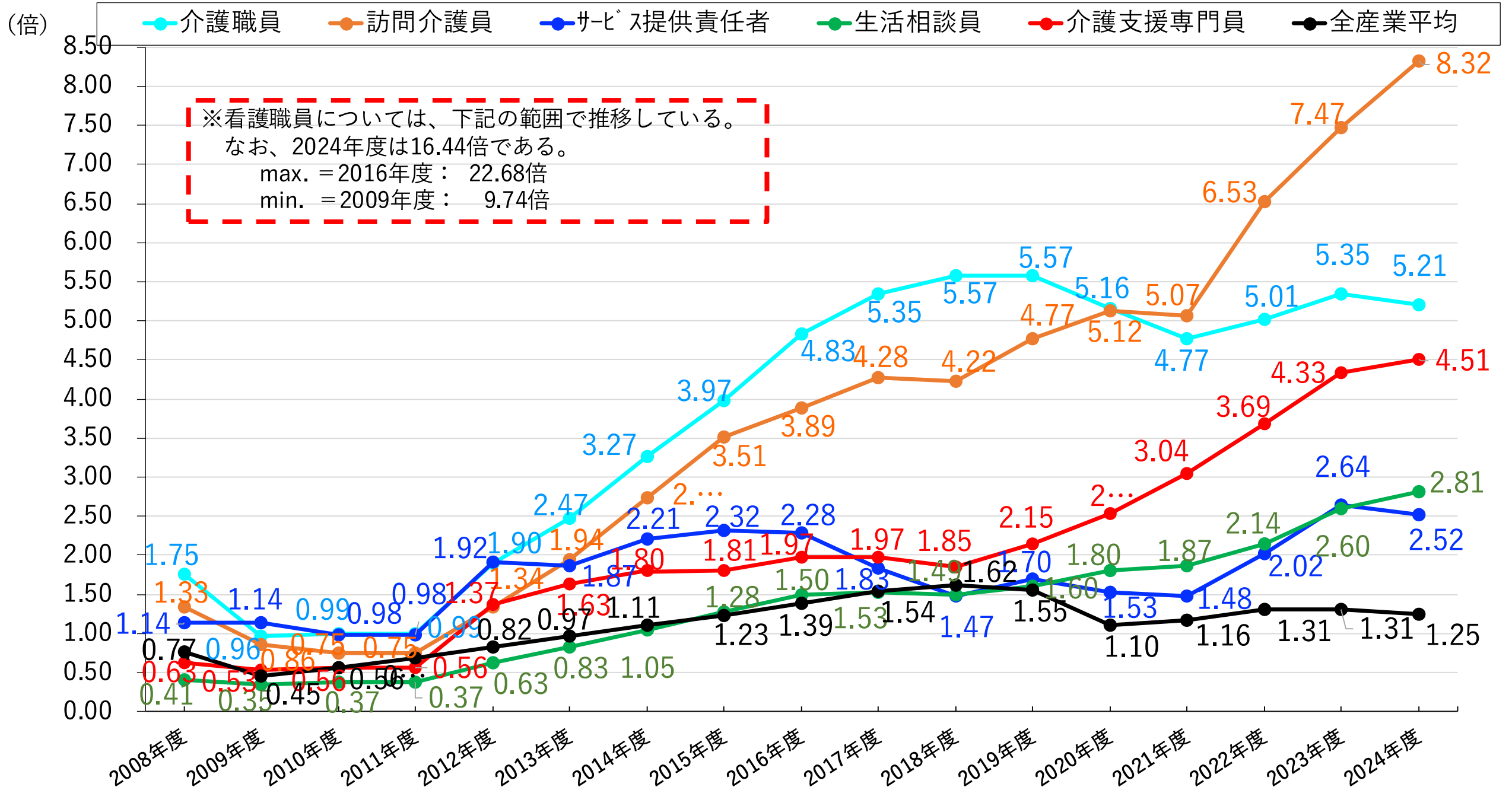
介護職員必要数と生産年齢人口の推計値の増減

出典：総務省『人口推計』（2022年9月1日現在）・国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口（令和5年推計）』および厚生労働省『第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について』のデータを用いて筆者にて作図



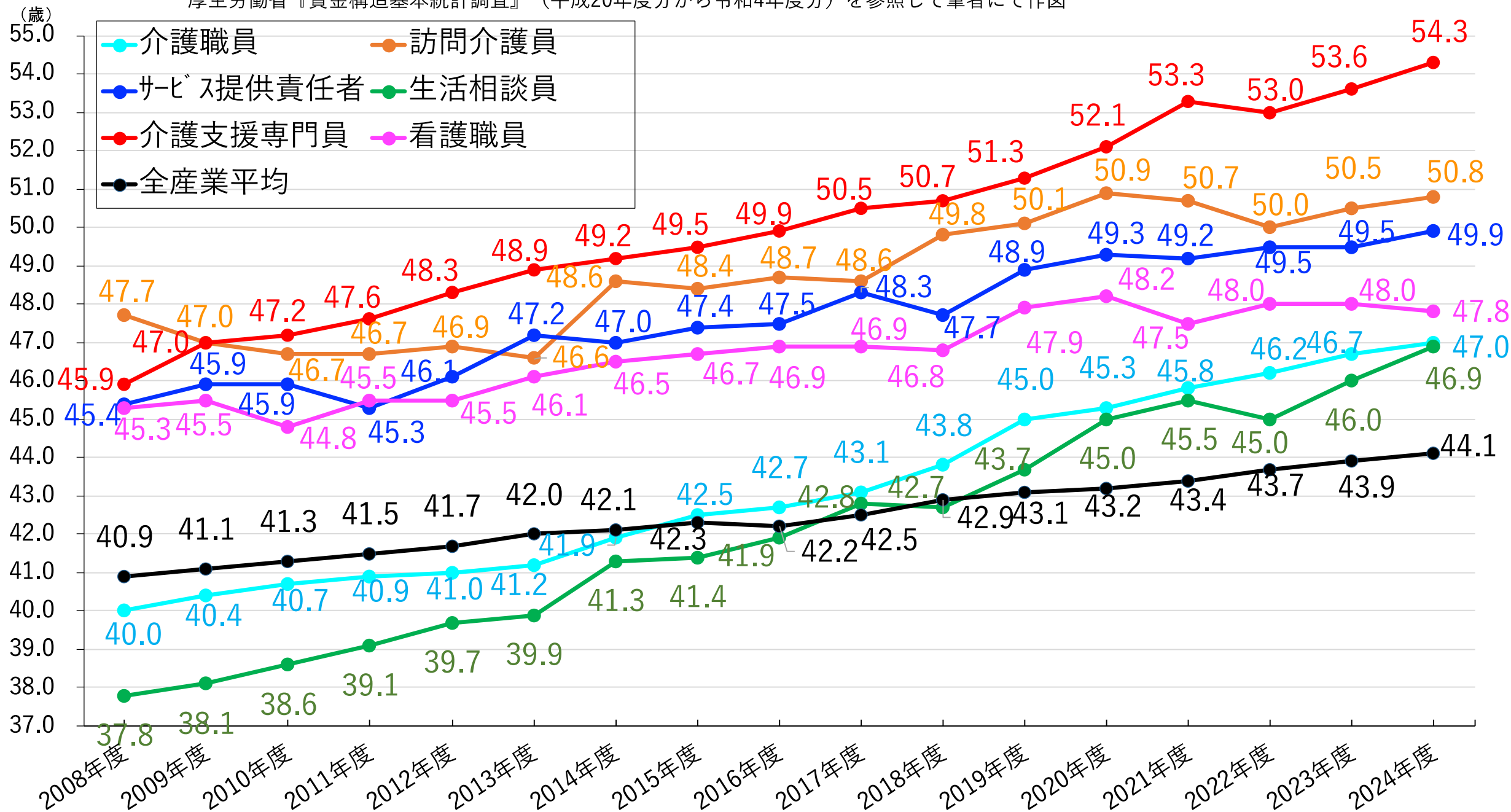
介護分野の従事者の有効求人倍率

出典：中央福祉人材センター『職業紹介実績報告(年間調査報告)』(平成20年度～令和6年度)・厚生労働省『一般職業紹介』(平成20年度～令和6年度)を参照し筆者作図



介護分野の従事者の平均年齢

出典：介護労働安定センター『介護労働実態調査・介護労働者の就業実態と就業意識調査結果報告書』（平成20年度分から令和4年度分） および
厚生労働省『賃金構造基本統計調査』（平成20年度分から令和4年度分）を参照して筆者にて作図



介護分野の従事者の給与水準

出典：介護労働安定センター『介護労働実態調査』

- 通常月の税込月収

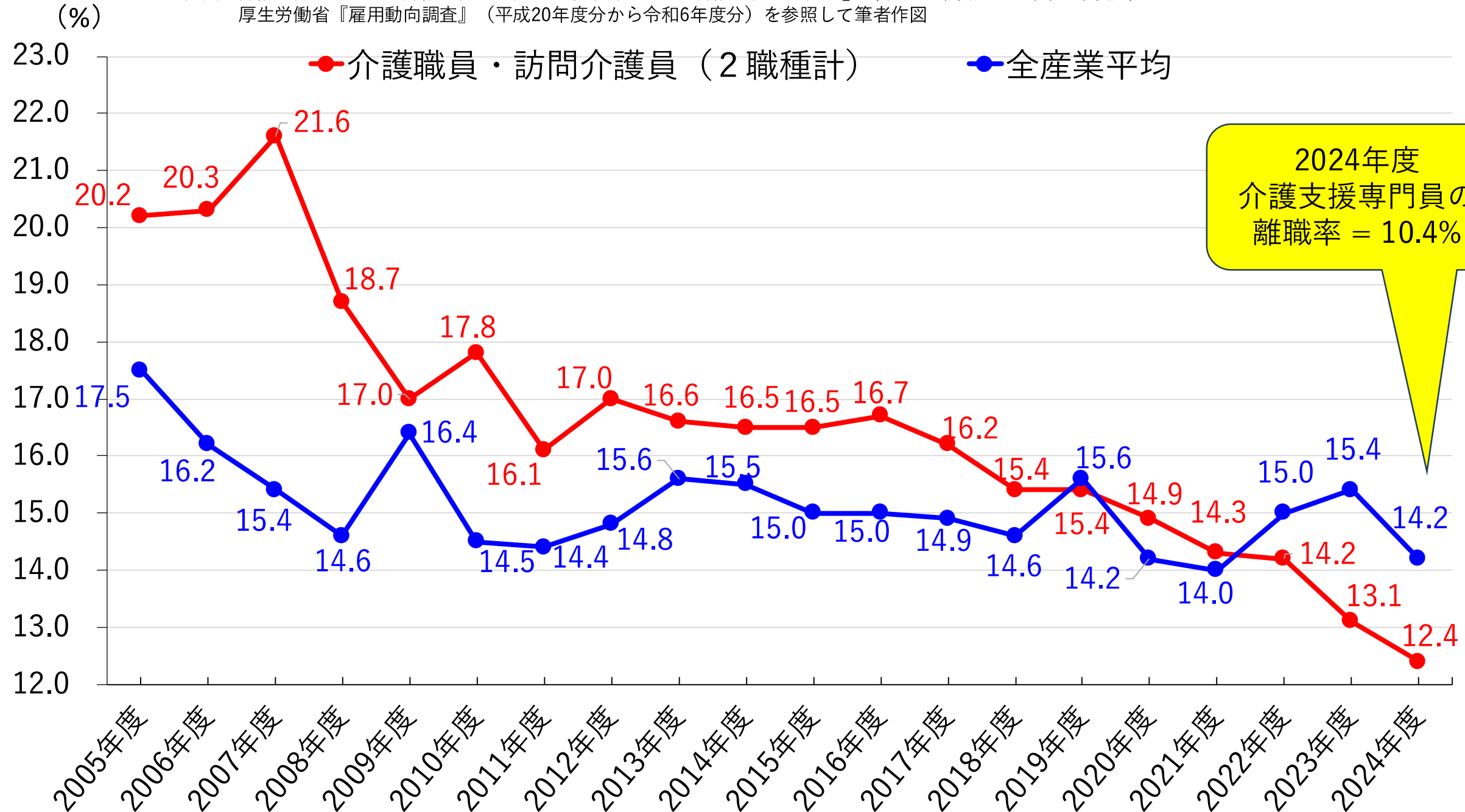
賞与、残業代、休日出勤手当を除き、通勤費等毎月決まって支給される各種手当を含む。

職種	2014年	2019年	2024年	アップ率 2024年/2014年
介護支援専門員	245,000円	238,381円	257,862円	+ 5.08%
サービス提供責任者	222,900円	224,613円	256,744円	+ 15.18%
介護職員	205,000円	204,468円	232,560円	+ 13.44%
訪問介護員	196,800円	205,402円	230,258円	+ 17.00%
一般労働者 ※	299,600円	307,700円	330,400円	+ 10.28%

※ 一般労働者については、厚生労働省『賃金構造基本統計調査』による。

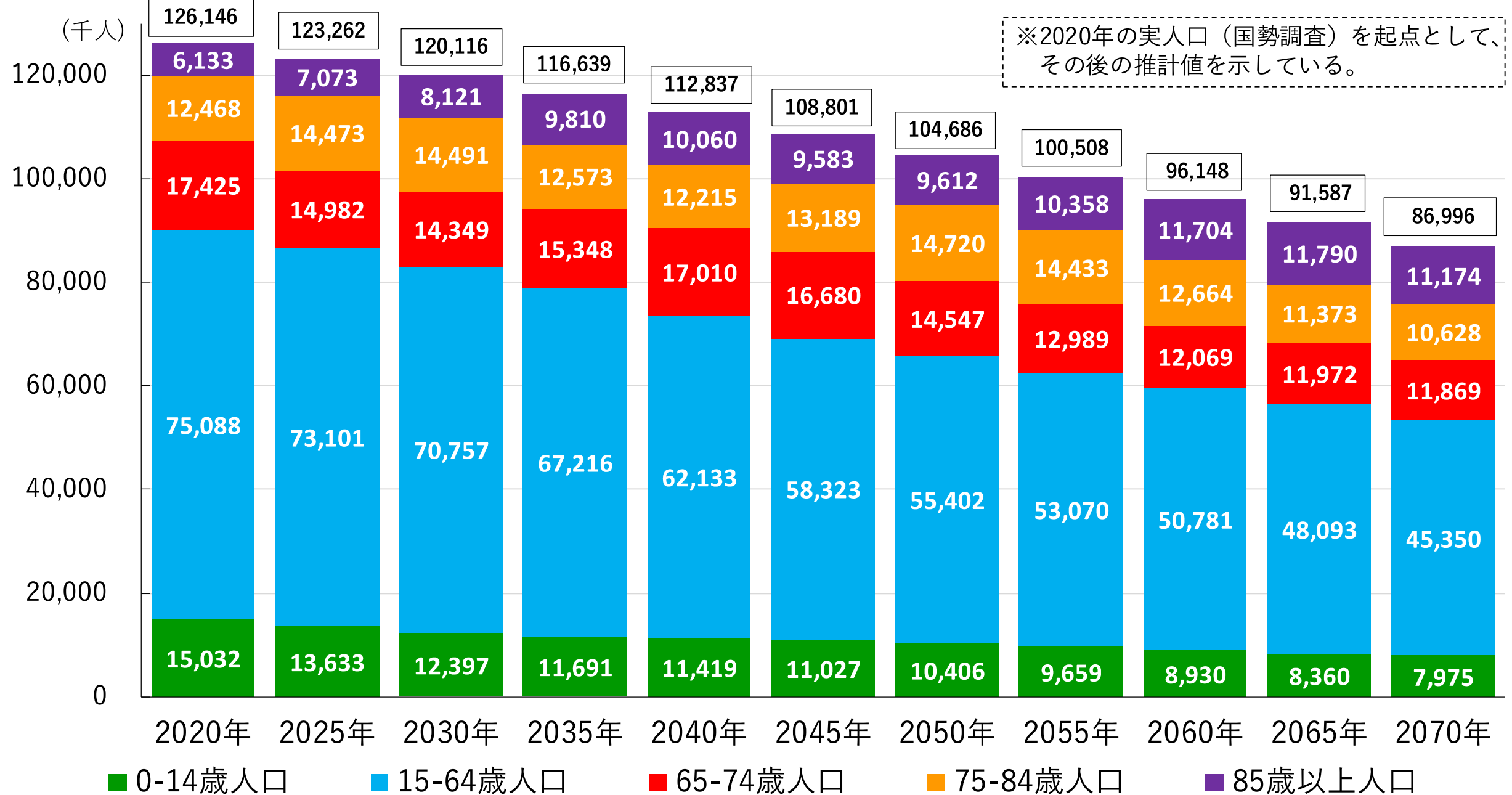
介護分野の離職率の推移

出典：介護労働安定センター『介護労働実態調査・事業所における介護労働実態調査』（平成20年度分から令和6年度分）および厚生労働省『雇用動向調査』（平成20年度分から令和6年度分）を参照して筆者作図



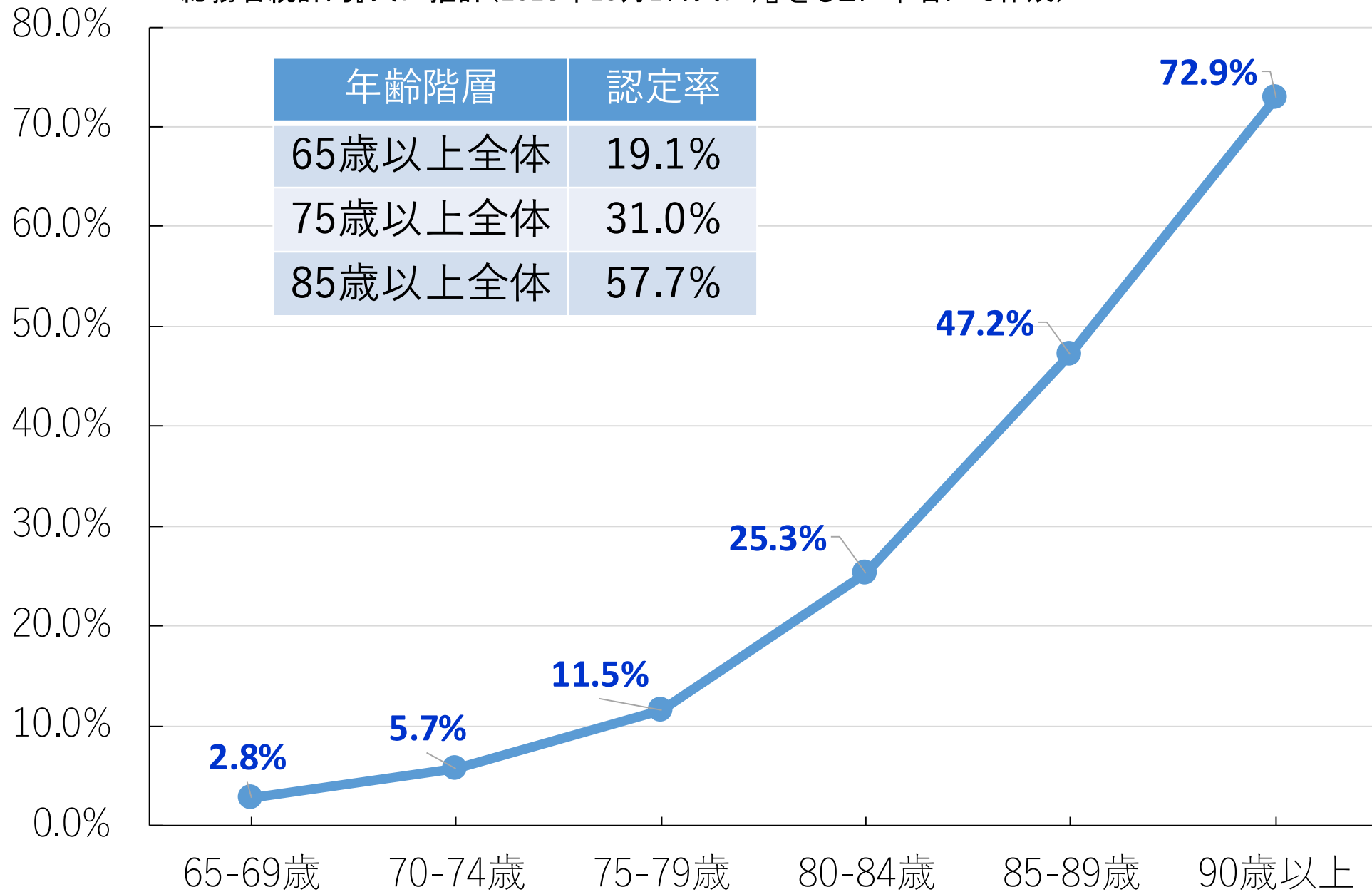
人口の減少/少子高齢化の推計(2023年発表)～年齢階層別の人口数増減

出典：『日本の将来推計人口（令和5年推計・出生中位/死亡中位）』（国立社会保障人口問題研究所,2023）をもとに筆者にて作図



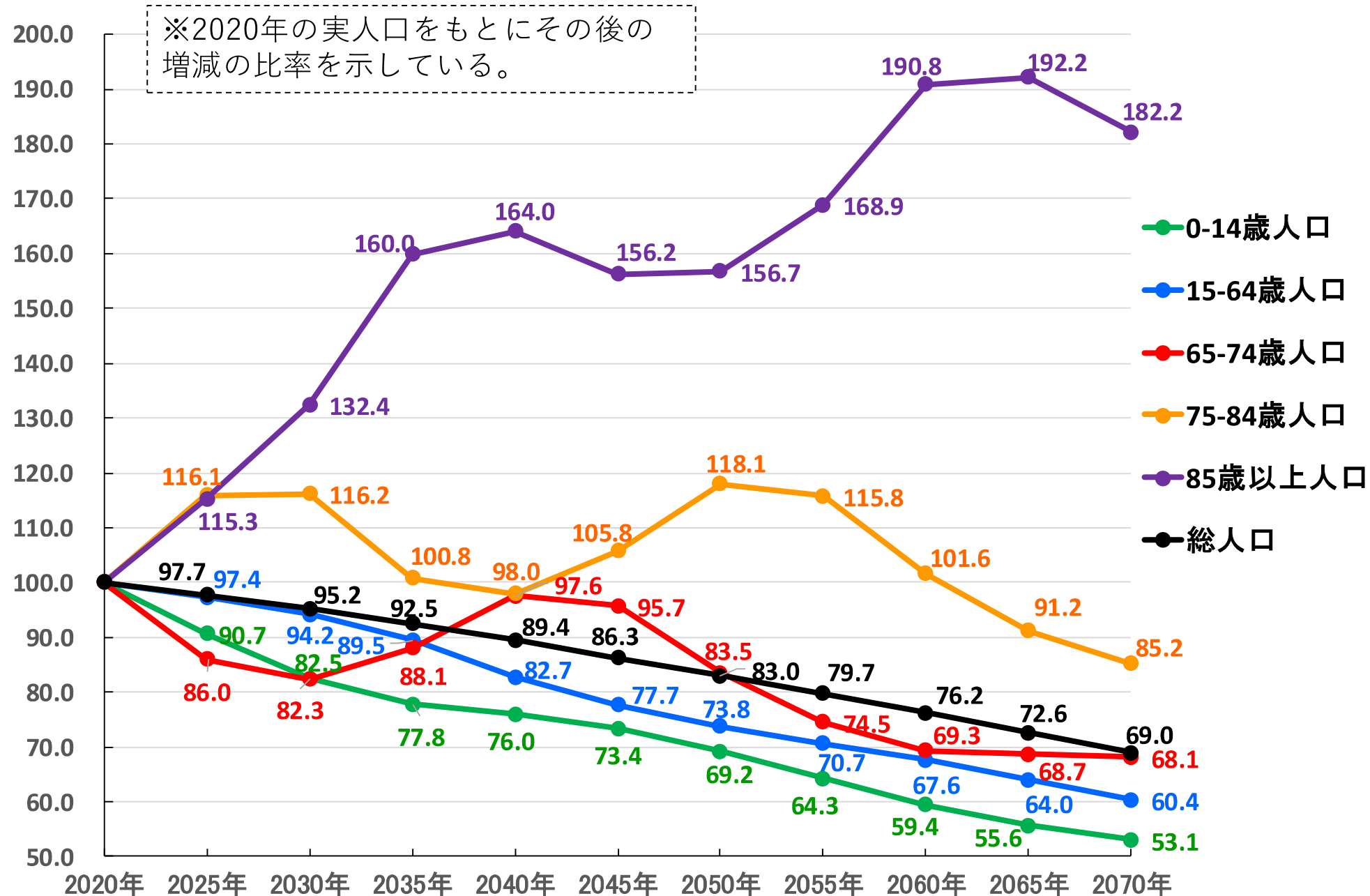
年齢階級別の要介護・要支援認定率

(厚生労働省老健局『介護保険事業状況報告(月報:2023年9月末)』および
総務省統計局『人口推計(2023年10月1日人口)』をもとに筆者にて作成)



わが国の人口減少と少子高齢化の推計(2023年発表)

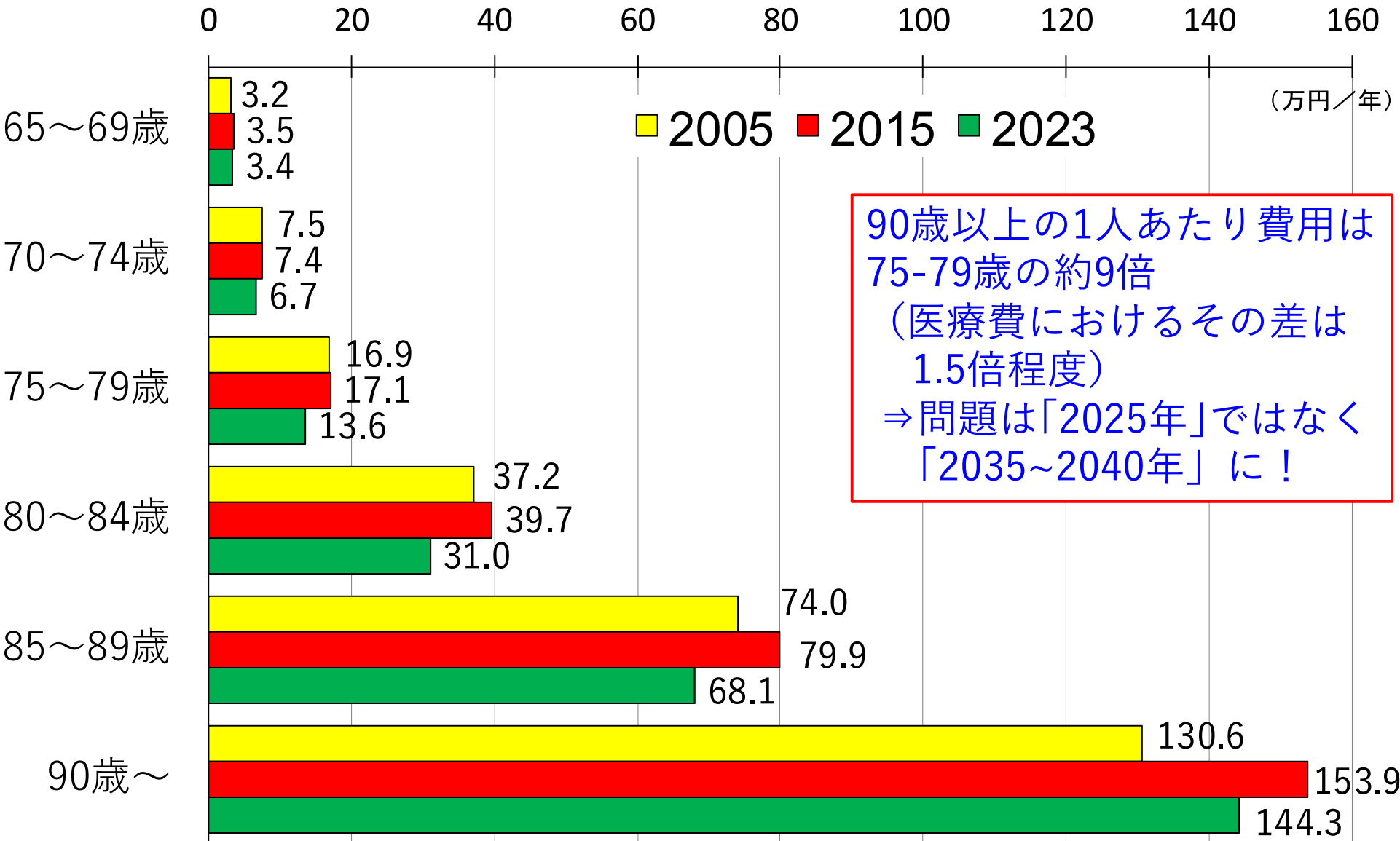
出典:『日本の将来推計人口(令和5年推計・出生中位/死亡中位)』(国立社会保障人口問題研究所,2023)をもとに筆者にて作図



年齢階級別1人あたり介護費用の推移(2005/2015/2023)

以下の文献をもとに筆者にて加筆・修正

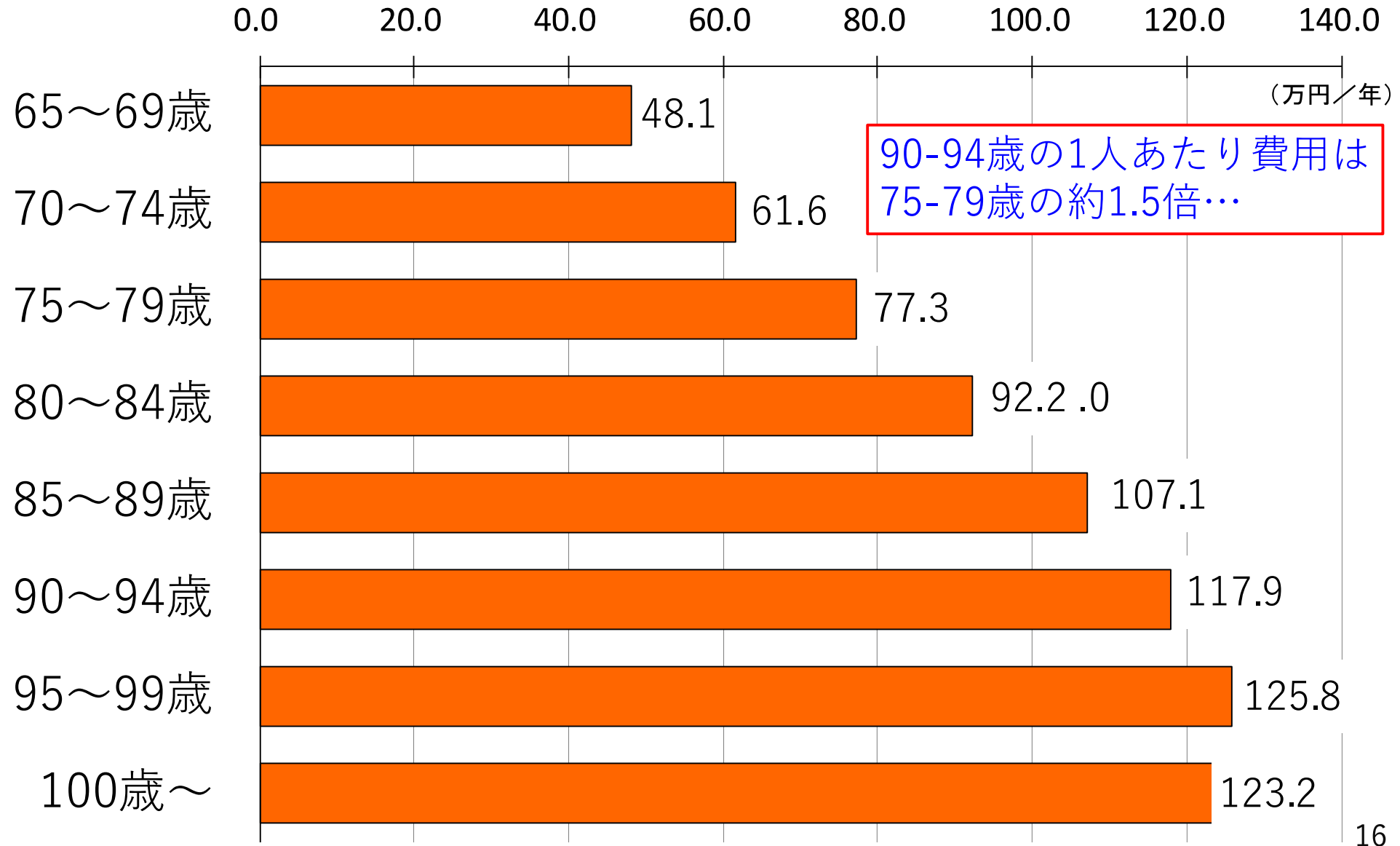
・池上直己(2017)『日本の医療と介護』p133,日本経済新聞社



年齢階級別1人あたり医療費（2022年）

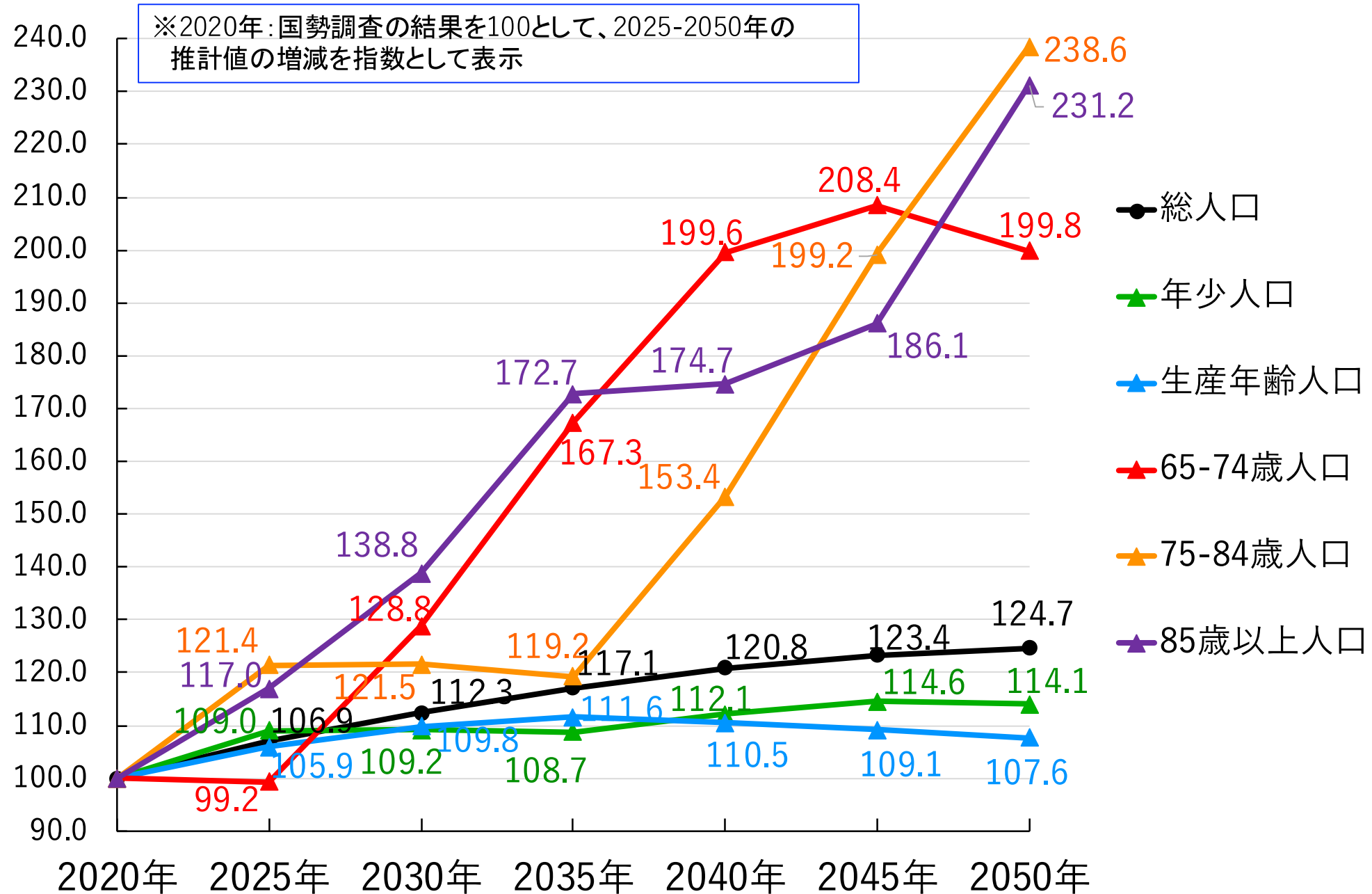
出典：厚生労働省WEBサイト「医療保険に関する基礎資料」をもとに筆者作成）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/iryouhoken/database/zenpan/kiso.html>（2025年6月18日閲覧）



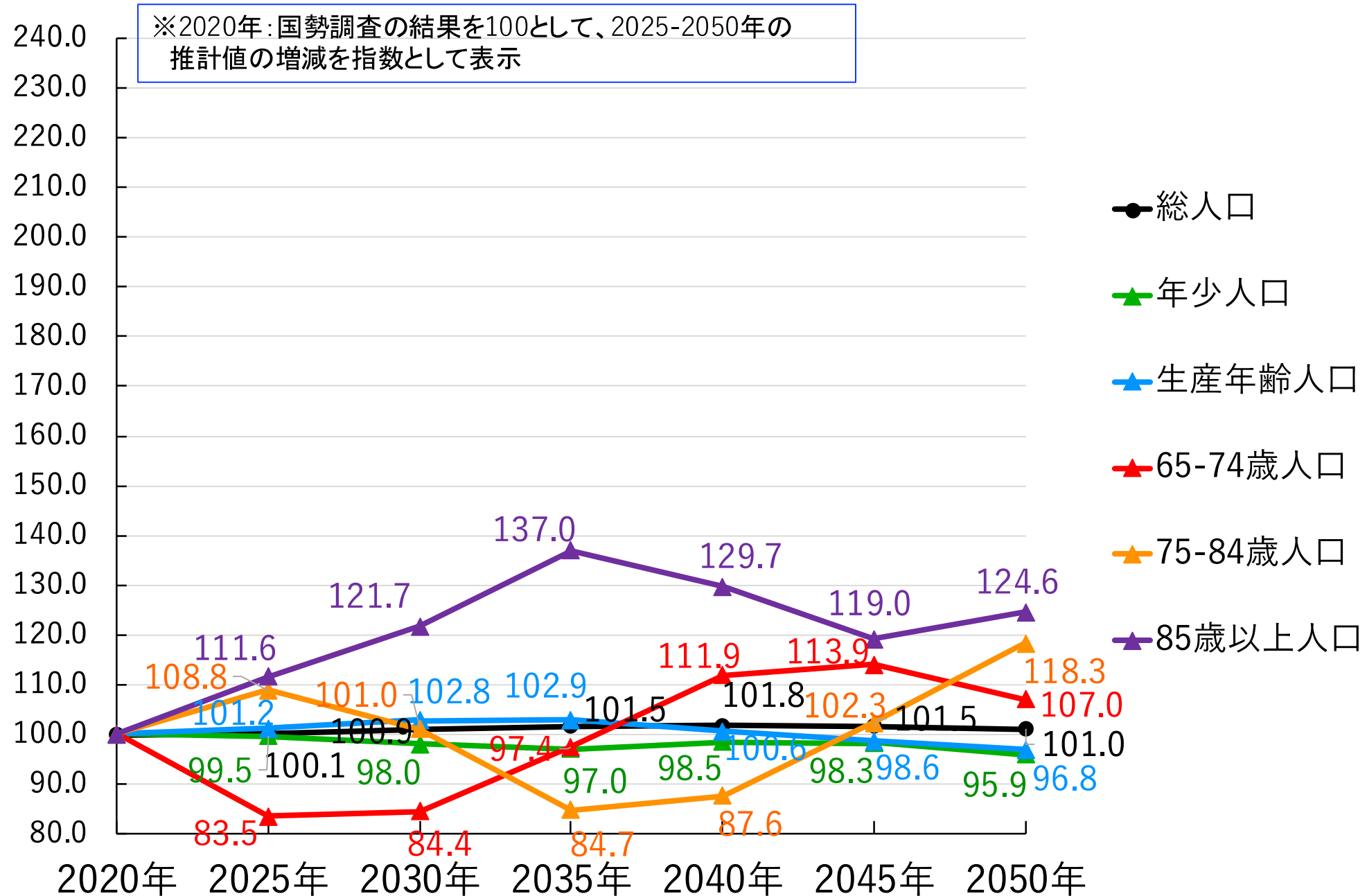
東京都中央区の将来推計人口(2020-2050年)

出典: 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(2023年推計: 出生中位・死亡中位仮定)』をもとに筆者作図



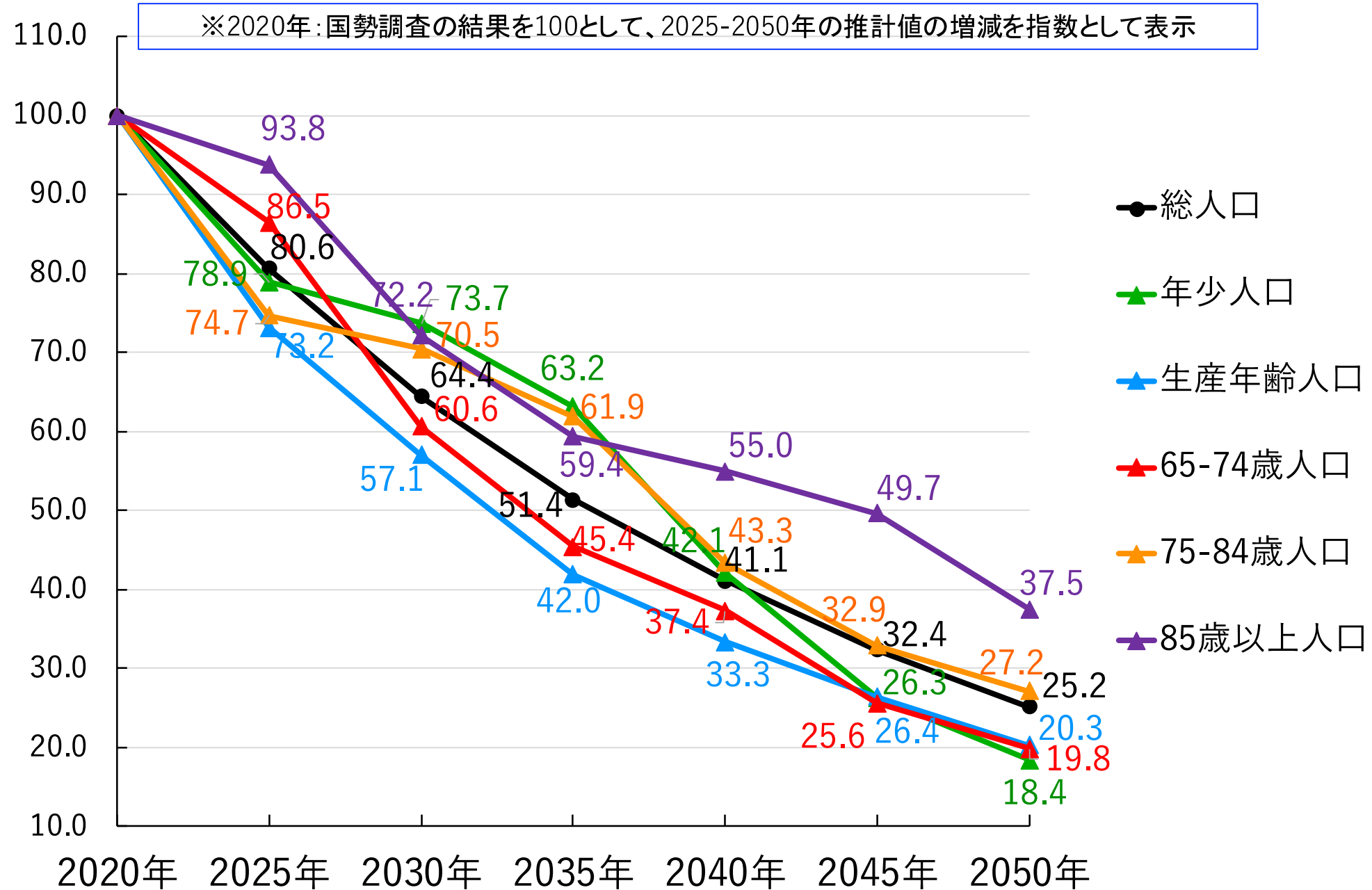
東京都北区の将来推計人口(2020-2050年)

出典: 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(2023年推計: 出生中位・死亡中位仮定)』をもとに筆者作図



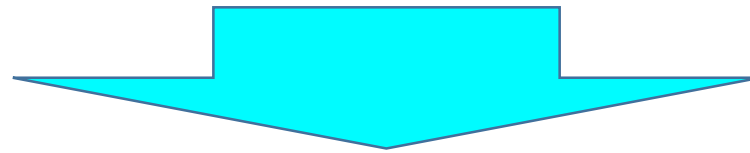
群馬県南牧村の将来推計人口(2020-2050年)

出典: 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(2023年推計: 出生中位・死亡中位仮定)』をもとに筆者作図



現行の介護・医療政策の動向の大前提

- 「社会保障に財源（保険料を含む）をより多く割くことが難しい」という経済・財政政策
- 「要介護高齢者は今後も増加する（地域間の格差は大きい）」という推計
- 「生産年齢人口の急減」を主要因とした「介護・医療人材確保の困難さが拡大する」という推計



介護保険・医療保険のサービス供給システムの
維持のために、「できること」は「限定的」！

「医療・福祉サービス改革プラン」 （抜粋）

（厚生労働省・2019年5月）

- 基本的方向性と目標

- 以下の4つの改革を通じて、医療・福祉サービス改革による生産性の向上を図る。

- ①ロボット・AI・ICT等の実用化推進、データヘルス改革

- ②タスクシフティング、シニア人材の活用推進

- ③組織マネジメント改革

- ④経営の大規模化・協働化

- これにより、2040年時点において、医療・福祉分野の「単位時間サービス提供量」について5%（医師については7%）以上の改善を目指す

介護保険制度に関連する今後の動き（予測）

* 2025年度末までに

- ・政府の一般会計・補正予算により、介護事業者への物価高騰対策の補助金事業・介護従事者の賃上げに資する補助金の各事業が創設（年度限り）

・ 2026年4月

- ・地域支援事業による「介護情報基盤の整備」事業の施行（一部）
- ・2026年度一般会計予算により前年度補正予算の補助金事業継承(単年度)

・ 2026年5月頃

- ・改正介護保険法(2027年度施行)成立・公布（医療保険各法・老人福祉法・高齢者住まい法なども「束ね法案」？）

* 2026年夏

- ・介護保険事業計画策定に向けた政府の「基本指針」発出

* 2026年12月

- ・介護報酬の改定率（全体）の決定

* 2027年1月

- ・介護報酬改定の詳細が決定（これ以降政省令・通知が発出）

* 2027年4月

- ・改正介護保険法施行
- ・介護報酬改定分施行（福祉系サービス分）

* 2027年6月

- ・介護報酬改定分施行（医療系サービス分）

* 2028年4月

- ・地域支援事業による「介護情報基盤の整備」事業の全面施行

介護情報基盤の整備

出典：厚生労働省『令和4年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議』資料(2023年3月8日)

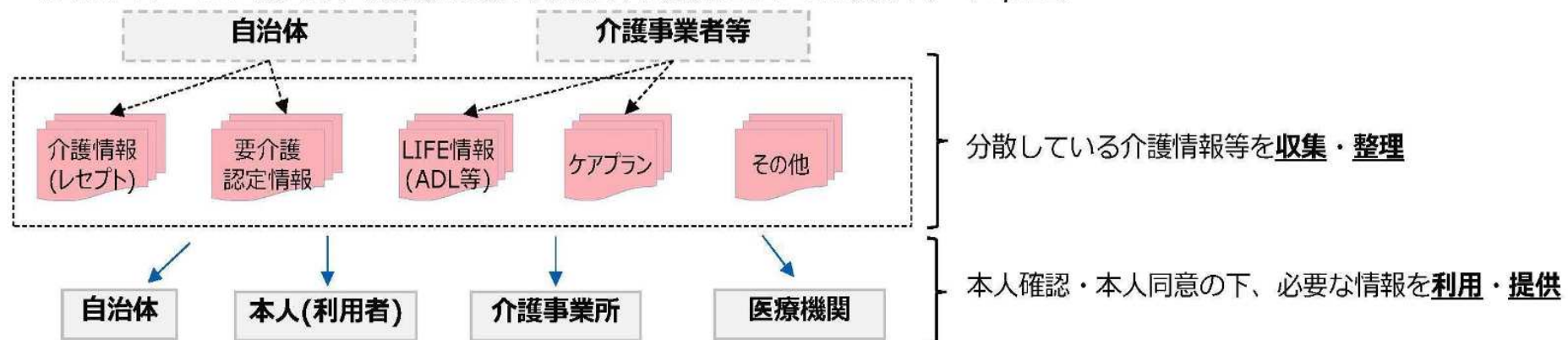
改正の趣旨

- 現在、利用者に関する介護情報等は、各介護事業所や自治体等に分散している。今般、医療・介護間の連携を強化しつつ、多様な主体が協働して高齢者を地域で支えていく地域包括ケアシステムを深化・推進するため、**自治体・利用者・介護事業所・医療機関等が介護情報等を電子的に閲覧できる情報基盤を整備**する。
- 具体的には、自治体、利用者、介護事業所・医療機関について、以下のような効果が期待される。
 - ✓ 自治体：利用者が受けている自立支援・重度化防止の取組の状況等を把握し、地域の実情に応じた介護保険事業の運営に活用。
 - ✓ 利用者：利用者が自身の介護情報を閲覧できることで、自身の自立支援・重度化防止の取組の推進に繋がる。
 - ✓ 介護事業者・医療機関：本人同意の下、介護情報等を適切に活用することで、利用者に提供する介護・医療サービスの質を向上。
※ さらに、紙でのやり取りが減り、事務負担が軽減される効果も期待される。
- こうした情報基盤の整備を、**保険者である市町村が実施主体であり、地域での自立した日常生活の支援を目的としている地域支援事業に位置付ける。**

改正の概要・施行期日

- 被保険者、介護事業者その他の関係者が当該被保険者に係る介護情報等を共有・活用することを促進する事業を**地域支援事業として位置付ける。** ※ 財源構成は、公費（国38.5%、都道府県19.25%、市町村19.25%）及び保険料（1号保険料23%）となる。
- 市町村は、当該事業について、**医療保険者等と共同して国保連・支払基金に委託**できることとする。
- 施行期日：公布後4年以内の政令で定める日**

<事業のイメージ> ※共有する情報の具体的な範囲や共有先については検討中。（⇒p.11）



「介護情報基盤の今後のスケジュール、介護情報基盤活用 のための介護事業所等への支援及び介護情報基盤と ケアプランデータ連携システムの統合について」 ①

(厚生労働省老健局老人保健課・介護保険計画課・高齢者支援課／

令和7年7月22日・事務連絡；介護保険最新情報Vol.1405)

- 令和8年4月1日以降、介護情報基盤との連携を含めた標準化対応が完了した市町村から、順次、介護保険システムから介護情報基盤へのデータ移行、介護情報基盤経由での情報共有を開始する
- 令和10年4月1日までに、全市町村において、介護保険システムから介護情報基盤へのデータ移行も含めて完了し、介護情報基盤の活用を開始することを目指す

「介護情報基盤の今後のスケジュール、介護情報基盤活用のための 介護事業所等への支援及び介護情報基盤とケアプランデータ連 携システムの統合について」 ②

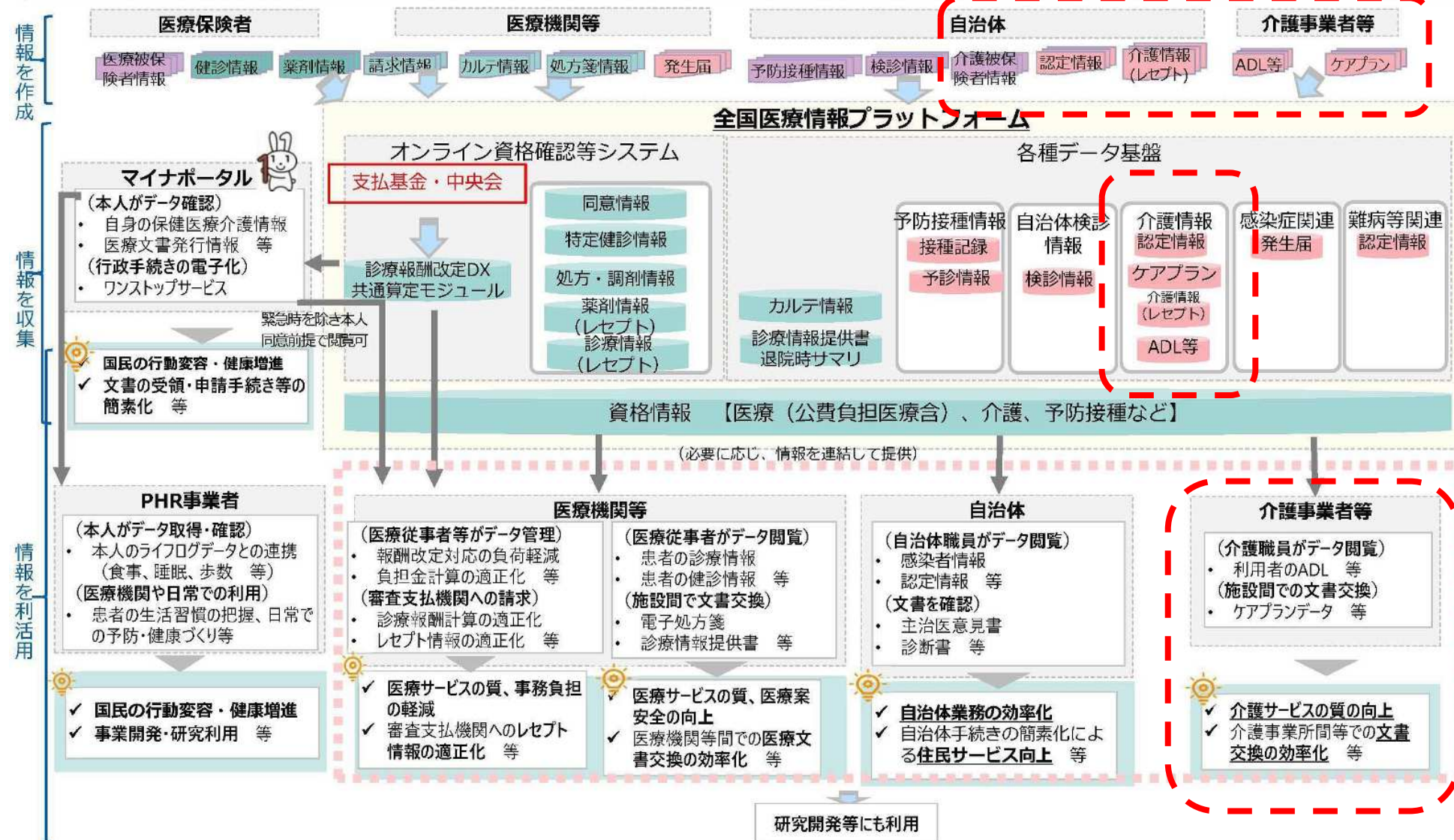
(厚生労働省老健局老人保健課・介護保険計画課・高齢者支援課／令和7年7月22日・事務連絡；介護保険最新情報Vol.1405)

- 介護情報基盤は、利用者本人、市町村、介護事業所、医療機関等の関係者による利用者に関する介護情報等（介護保険被保険者証等情報、要介護認定情報等）の電子的閲覧を可能とするものであり、当該情報基盤の活用により、業務の効率化や介護サービスの質の向上が期待されます。
- 介護事業所が介護情報等の電子的閲覧等を行う際には、インターネットに接続している端末において、介護保険資格確認等WEB サービス（以下「介護WEB サービス」という。）をご利用いただきます（介護サービスを提供している医療機関についても同様）。また、主治医意見書を作成する医療機関が、介護WEB サービスで主治医意見書の作成・送信を行うことも可能です。
- また、医療機関において、現在主治医意見書を記載している、オンライン資格確認等システムに接続されている電子カルテや文書作成ソフト等から、介護情報基盤経由で主治医意見書の作成・送信を行うことも可能としています。
- 令和7年6月30日開催の社会保障審議会介護保険部会における議論を踏まえ、介護事業所において現在利用されている「ケアプランデータ連携システム」について、介護情報基盤と介護保険資格確認等Web サービスにケアプランデータ連携機能として統合（以下「システム統合」という。）する方針で検討を進めることとなりました。
- このシステム統合により、介護事業所は、介護保険資格確認等Web サービス上で一元的に介護情報にアクセスできるようになり、介護関係者の業務が効率化されるとともに、介護事業所間の連携強化や情報共有が進むことで、ケアの質の向上にもつながることが期待されます。

「全国医療情報プラットフォーム」（将来像）

○オンライン資格確認システムのネットワークを拡充し、レセプト・特定健診情報に加え、予防接種、電子処方箋情報、電子カルテ等の医療機関等が発生源となる医療情報（介護含む）について、クラウド間連携を実現し、自治体や介護事業者等間を含め、必要なときに必要な情報を共有・交換できる全国的なプラットフォームとする。

○これにより、マイナンバーカードで受診した患者は本人同意の下、これらの情報を医師や薬剤師と共有することができ、より良い医療につながるとともに、国民自らの予防・健康づくりを促進できる。さらに、次の感染症危機において必要な情報を迅速かつ確実に取得できる仕組みとしての活用も見込まれる。



2027年度介護保険制度改革の動向

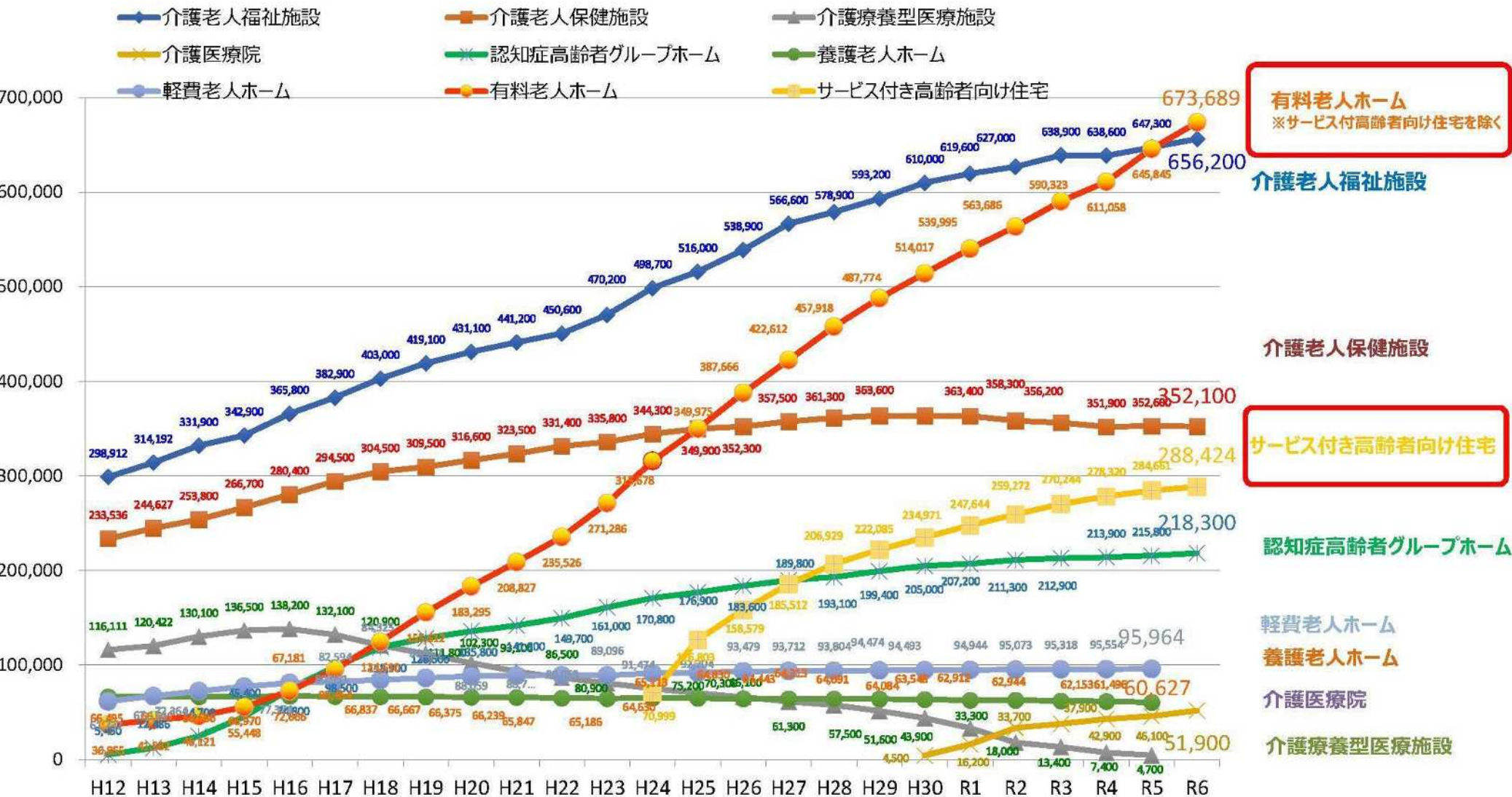
- 介護報酬の期中改定（2026年度）は処遇改善関連にとどまる！
- 「介護情報基盤の整備」が本格的に実施・稼働する！
 - ～LIFE情報の利活用に関する加算が訪問系サービスにも？
 - ～アウトカム評価によるインセンティブの強化も？
- 給付の見直しの動向
 - ～要介護2までの訪問介護（生活援助）・通所介護などは、保険給付から外れ地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に移行する？
 - ～現行の総合事業での「多様なサービス」の重要性が増す！
 - ～高齢者向け住まいの入居者へのサービス提供の見直しは？
- 負担の見直しの動向
 - ～ケアマネジメントへの利用者負担の導入は？
 - ～2割負担の拡大などの利用者負担増も？
- 生産性向上に向けた取り組みの重要性
 - ～ICT/DX化の推進、データヘルス改革、生産性向上への対応の重要性が！

最大の課題は「介護人材確保」「生産性向上推進」への対応！

高齢者向け施設・住まいの利用者数

出典：厚生労働省『有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会（第7回）』（2025年10月31日開催）資料

（単位：人・床）



※1：介護保険施設及び認知症高齢者グループホームは、「介護サービス施設・事業所調査（10/1時点）【H12・H13】」、「介護給付費等実態調査（10月審査分）【H14～H29】」及び「介護給付費等実態統計（10月審査分）【H30～】」による。

※2：介護老人福祉施設は、介護福祉施設サービスと地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を合算したもの。

※3：認知症高齢者グループホームは、H12～H16は痴呆対応型共同生活介護、H17～は認知症対応型共同生活介護により表示。（短期利用を除く）

※4：養護老人ホーム・軽費老人ホームは、「社会福祉施設等調査（R2.10/1時点）」による。ただし、H21～H23は調査票の回収率から算出した推計値であり、H24～は基本票の数値。（利用者数ではなく定員数）

※5：有料老人ホームは、厚生労働省老健局の調査結果（利用者数ではなく定員数）による。サービス付き高齢者向け住宅を除く。

※6：サービス付き高齢者向け住宅は、「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム（R4.9/30時点）」による。（利用者数ではなく登録戸数）

高齢者向け住まいをめぐって

- 老人福祉法と高齢者住まい法に関して
 - * 住宅型有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅について
2027年度から「事前規制」が開始？
～中重度者を対象とした事業者については(新たな)「登録制」に？
(それ以外は現行の「届出制」のまま)
～そこでの介護・医療サービス提供についても何らかの規制が？
- 住宅セーフティネット法に関して
 - * 住宅確保要配慮者に対し、これまで「セーフティネット登録住宅」の整備が進められてきた
 - * 2025年10月から、新たに「居住サポート住宅」が制度化された

急増が予測される「ひとり暮らし高齢者」(特に
男性の急増)への対策として重要！

介護保険制度の持続可能性をめぐる課題

- 「介護人材の確保」が最大かつ最も困難な課題と言える。
- 介護人材をめぐって、近年、離職率は大幅に低下し、処遇/給与水準は一定程度の改善が現れている。
- しかし、人口構造が大きく変わるなか、そうした従来の確保策（処遇改善など）だけでは、この課題の軽減・解決は見通せない。
- したがって、持続可能性をめぐって最も重要となる対策は、一連の「生産性向上施策」の拡大であると考えられる。
- あわせて、介護・医療への国民負担（税・保険料）を今後どれほど求めるのかといった議論も不可欠である。